

令和4年度

事業報告書

自 令和4年 4月 1日

至 令和5年 3月 31日

目 次

〔Ⅰ〕概 要.....	1
〔Ⅱ〕組 織	
1. 機 構.....	3
2. 理事・監事・評議員・最高顧問.....	4
3. 会議記録.....	5
4. 委員会.....	6
1) 委員会の所管事項.....	6
2) 委員会委員.....	7
3) 委員会・部会 会議実績.....	8
5. 自動車教育推進協議会.....	10
〔Ⅲ〕事業活動	
1. 自動車技術教育支援事業.....	12
1) 機材提供活動.....	12
2) 教員支援活動.....	15
3) 協賛支援活動.....	16
4) 交流促進活動.....	16
2. 調査研究事業.....	19
1) 調査活動.....	19
2) 教材作成活動.....	21
3. 研修事業.....	22
1) 財団研修活動.....	22
2) 講師派遣活動.....	22
3) P I U S 特別講習.....	24
4. 普及啓発事業.....	25
1) 普及啓発活動.....	25
2) 広域普及啓発活動.....	28

〔IV〕 支援活動

1. 自動車技術教育関連イベントへの支援..... 31

〔V〕 組織運営

1. 理事・監事・評議員の異動..... 32

2. 委員会・部会の効率的な運営..... 32

3. 財務・経理の状況..... 32

〔VI〕 庶務事項

1. 事務局体制..... 33

2. 賛助会費・寄附金の状況..... 33

※ 添付資料

【資料1】 令和4年度講師派遣実績..... 34

【資料2】 令和4年度教材贈呈式・教育懇談会開催状況..... 42

令和4年度事業報告附属明細書..... 51

〔I〕令和4年度 事業報告 概要

財団は、社会と自動車のより良い関係を形成するため、高等学校における自動車及び交通に関する教育への支援を行い、我が国の交通社会及び交通文化の健全な発展に寄与すべく、事業活動に取り組んでいる。令和4年度においては、コロナ禍が続いたものの、ほとんどの活動を計画通り実施できた。

自動車技術教育（自動車技術に関する教育）については、高等学校における技術教育の維持・向上とさらなる普及を支えるために取り組んだ。自動車技術教育用教材の継続提供に対する高等学校からの強い要望に応えるため、広域公募を継続すると共に、3年ぶりに教材贈呈式・教育懇談会を全対象県で開催した。

交通社会教育（自動車及び交通と社会とのかかわりに関する社会教育）では、「モビリティ」「交通技術」「環境技術」「交通安全」の4テーマを中心に取り組んだ。これらに関する国内外の先進事例の調査を実施し、その結果を動画学習サイトで情報発信した。また、先生方の関心が高い環境や安全に関する先進技術や交通安全等については、先生方を対象とした財団主催研修会や、関係団体からの専門講師の派遣を行うなどして、高等学校における自動車や交通に関する教育を支援した。

1. 自動車技術教育支援事業

技術教育支援事業は、東北・甲信越・四国・九州地方の18県272校を対象に自動車技術教育用教材提供の公募を行い、対象地域全てから前回（令和元年度）募集とほぼ同数の91校の応募があった。審査委員会にて厳正な審査・選考を行い、応募のあった全91校に教材の提供を行った。これで平成3年からの提供校累計は2,294校となった。

また担当教諭の技術知識や指導力向上支援一環として、汎用エンジン提供校（27校）への訪問・電話指導、分解組立用電子制御エンジン提供校（10校）への解説DVDの提供、技術系講師派遣（24件）を実施した。

贈呈式・教育懇談会は教材提供地域全18県にて実施した。出席人数を絞り込んだ開催とし、参加者を絞ることにより、限られた時間の中で有意義な意見交換・質疑応答の場となった。また高知県において初の試みとして、贈呈式をディーラー本社にて開催、その後ディーラー店舗の見学会を実施し、教育懇談会にて意見交換を行った。参加した先生からは「整備工場を見学することにより、現場環境が大きく改善していることを実感し、ディーラーに対する印象が変わった」等、多くの気づきがあったとのことで、有意義な見学会となった。

2. 調査研究事業

調査研究事業では、国内調査を3回実施した。スマートタウンでの電力自給、石炭火力発電、自転車活用推進の取り組みについて調査した。海外調査を3年ぶりに実施し、シンガポールにおける交通政策、自動運転技術開発、電動化の取り組みに焦点を当てた。これらの調査結果を動画化の上、動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』に掲載し、広く高等学校への展開を行なった。

また教育現場のICT化の進展を踏まえ、既存副教材のデジタル化を進めた。クルマや自動車産業を通してマクロの経済・社会との関わりについて考える副教材『クルマを通じて社会を考える』の「Ⅲ 環境問題と政策」「Ⅳ 現代の企業・産業構造の変化」「Ⅴ 国際経済」「Ⅵ 自転車事故と損害賠償」を作成した。令和3年度に作成した「Ⅰ 地球温暖化」「Ⅱ 資源・エネルギー問題」と合わせ、当副教材を構成する全6章が完成した。

3. 研修事業

研修事業では、財団研修活動として「教員研修会（JAEF研修会）」を4回計画し、コロナ禍の影響を受けつつもこのうち3回開催することができた。毎年高評価の研修会を企画しており、今

回も参加者 89 名から高い評価を得た。このうち一部の研修会では講演動画を作成し、財団ホームページに公開したことで、全国の先生方へ広く受講機会を提供した。

講師派遣活動では、自動車技術、環境・交通技術、交通安全をテーマに全国約 6,000 の高等学校へ公募活動を行い、外部の専門講師を派遣した。令和 4 年度も年間を通じて新型コロナ感染の影響が続いたが、オンライン方式の研修会が前年度とほぼ同水準で併用、活用され、キャンセルを大幅に抑制できたことで、開催件数は 286 件と前年度を上回る実績となった。

令和 3 年度に立ち上げた財団独自の出前授業である P I U S（分解組立式小型電気自動車）特別講習は、計画通り 10 回開催した。電気自動車の分解・組立から試乗までをパッケージとした新たな形の講習に対し、多くの受講者から好評を得た。

4. 普及啓発事業

普及啓発事業では、自動車教育支援の更なる強化、クルマへの関心・理解向上を図るべく、動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』にて、“18 歳成人”に必要な自動車・自転車に纏わる各種知識（権利・義務、賠償等）、環境・エネルギー問題、自動運転技術や電動化などをテーマとした計 20 本のコンテンツを掲載した。これらのコンテンツのダイジェスト版を制作し、YouTube にて公開を始めることで、フルスケール版を掲載する財団ウェブサイトへの誘引・視聴促進を図った。また、一般社団法人「学びのイノベーション・プラットフォーム」と連携し、同法人が設ける各種教材にアクセスできるポータルサイトでの公開に向け準備を進めた。

この他、当財団および活動内容に対する認知度向上・各種支援の活用促進を図るべく、メルマガ登録者数の増加、先生方に近接した機会（全国規模の研究会や教育団体 機関誌）での告知・情報提供などを実施した。

広域普及啓発活動としては、財団活動に関する各種情報のアクセシビリティ向上に取り組んだ。先生方への支援内容をまとめたリーフレット「JAEF 支援メニュー」のデザインを大幅変更した他、ホームページの全面刷新に着手した。

また、メールマガジン、フェイスブック、ツイッターでの継続的な情報提供により、広く世間に対して自動車教育並びに財団活動に関する情報を発信した。ホームページ、ニュースリリース（『JAEF NEWS』）、定期事業報告紙（『JAEF REPORT』）等のメディア・ツールにおいても事業展開に合わせ適宜更新を行い、タイムリーな情報発信を実施した。

5. 組織運営について

令和 4 年度の財団事業は、第 26 回理事会（令和 4 年 3 月 16 日開催）にて承認された令和 4 年度事業計画及び令和 4 年度収支予算に基づき、展開された。

具体的な事業展開に際しては、各委員会・部会での検討を経て、効率的な展開を心がけた。これら会議の開催状況は、企画委員会 3 回、審査委員会 1 回、事業委員会 2 回、技術教育部会 4 回、調査普及部会 2 回、研修部会 2 回となっている。

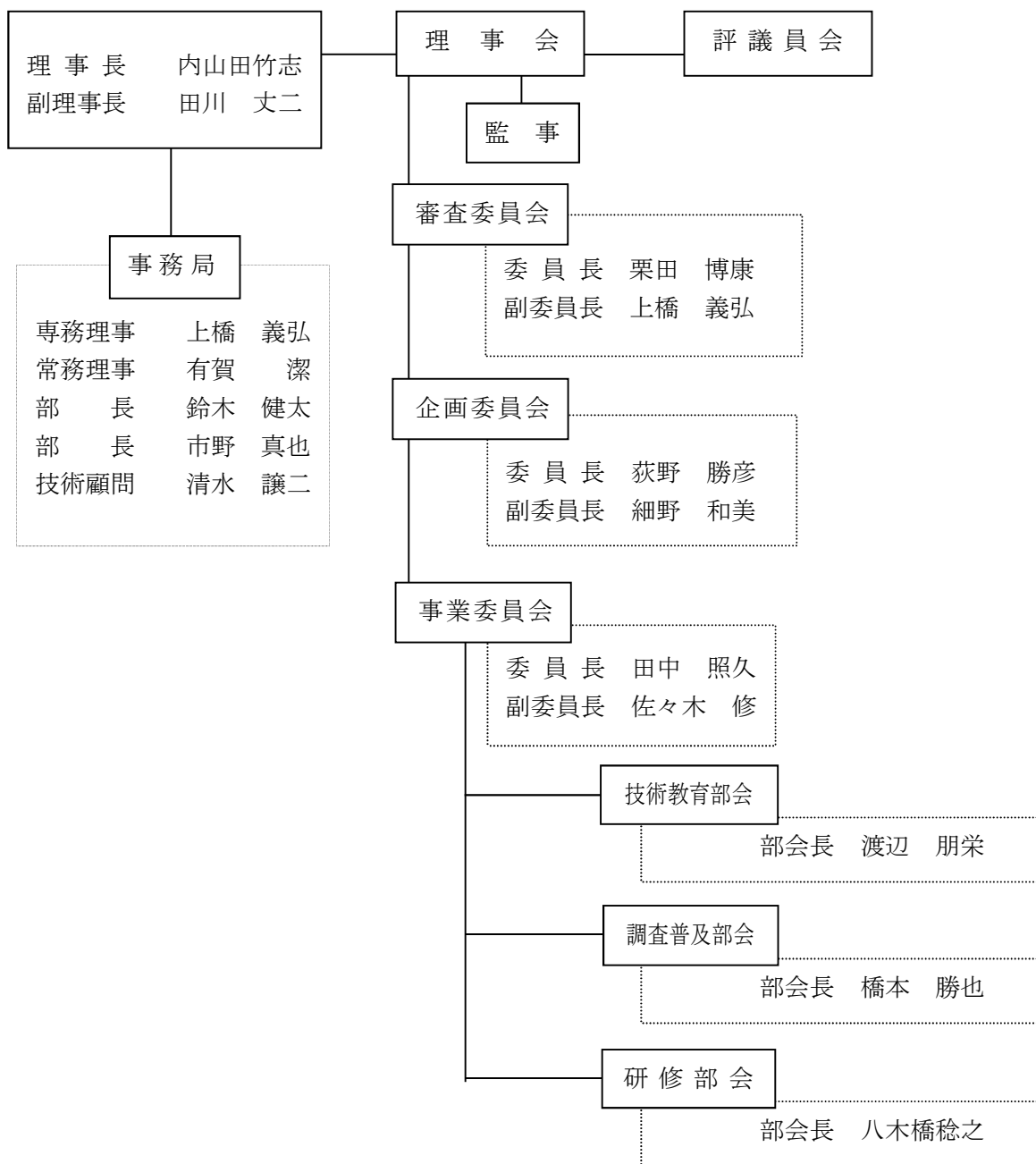
収支に関しては、収入は賛助会費の一部減額が前年度から継続したまま、基本財産運用益の増加で前年度比 184 万円増の 7,774 万円となった。支出は、自動車技術教育への支援強化・学習形態の多様化等に対応する新規取り組みの実施により、前年度から 397 万円増の 8,214 万円となった。最終的な収支全体は、440 万円の赤字となった。

〔Ⅱ〕組織

1. 機構

令和5年3月31日現在

敬称略



2. 理事・監事・評議員・最高顧問

[令和5年3月31日現在]
(敬称略)

理事長	内山田 竹 志	[トヨタ自動車(株)]	代表取締役会長
副理事長	田川 丈二	[日産自動車(株)]	専務執行役員 <small>チーフアドバイザー(兼任)</small>
理事	永塚 誠一	[(一社)日本自動車工業会]	副会長・専務理事
理事	小糸 正樹	[(一社)日本自動車販売協会連合会]	副会長・専務理事
理事	木場 宣行	[(一社)日本自動車整備振興会連合会]	専務理事
理事	島 雅之	[(一社)日本自動車連盟]	専務理事
理事	板崎 龍介	[(一社)全国軽自動車協会連合会]	専務理事
理事	伊豆原 孝	[(一社)日本損害保険協会]	常務理事
理事	長田 利彦	[(公社)全国工業高等学校長協会]	顧問
専務理事	上橋 義弘	[(公財)日本自動車教育振興財団]	事務局常勤
常務理事	有賀 潔	[(公財)日本自動車教育振興財団]	事務局常勤
			(以上11名)
監事	高橋 信行	[(一社)日本自動車工業会]	理事・事務局長
監事	山崎 幸雄	[山崎幸雄税理士事務所]	代表
			(以上2名)
評議員	上村 肇	[全国高等学校長協会]	事務局長
評議員	鈴木 光俊	[全国総合学科高等学校長協会]	理事長
評議員	福田 健昌	[(公社)全国工業高等学校長協会 [全国自動車教育研究会]	理事長
評議員	大山 敏	[全国公民科・社会科教育研究会]	会長
評議員	柳田 昌宏	[(一社)日本自動車機械工具協会]	会長
評議員	武藤 孝弘	[(一社)日本中古自動車販売協会連合会]	専務理事
評議員	一色 良太	[(一財)日本自動車研究所]	代表理事・専務理事
評議員	山岡 正博	[(一社)日本自動車会議所]	専務理事
評議員	波留 静哉	[(一財)日本自動車査定協会]	専務理事
評議員	鈴木 欣也	[(一社)自動車公正取引協議会]	専務理事
評議員	入野 泰一	[日本自動車輸入組合]	副理事長兼専務理事
評議員	石橋 正人	[(公財)自動車製造物責任相談センター]	常務理事・事務局長
評議員	吉田 量年	[(一社)日本自動車車体工業会]	専務理事
評議員	西脇 尚澄	[(一財)自動車検査登録情報協会]	専務理事
評議員	福田 安展	[東京海上日動火災保険(株)]	副社長執行役員
評議員	齋藤 滋夫	[損害保険ジャパン(株)]	副社長執行役員
評議員	奥田 尚也	[三井住友海上火災保険(株)]	専務執行役員
評議員	荒川 裕司	[あいおいニッセイ同和損害保険(株)]	執行役員
評議員	安部 典明	[本田技研工業(株)]	執行役常務
評議員	菖蒲田 清孝	[マツダ(株)]	代表取締役会長
			(以上20名)
最高顧問	小枝 至		

3. 会議記録

1) 第27回 理事会

- (1) 日 時 令和4年5月18日(水) 14:00~15:00
- (2) 場 所 芝パークホテル 別館ローズA
一部理事はテレビ会議システム (Zoom) による出席
- (3) 議 案 ①令和3年度事業報告および決算について
②剰余金解消計画について
③第11回定時評議員会開催について
- (4) 報 告 ①代表理事・業務執行理事の職務執行の状況報告
「令和4年度事業進捗状況について」

2) 第11回 評議員会

- (1) 日 時 令和4年6月13日(月) 16:30~17:00
- (2) 場 所 芝パークホテル 別館ローズB/C
一部理事はテレビ会議システム (Zoom) による出席
- (3) 議 案 ①議長選出
②議事録署名人選出
③令和3年度事業報告および決算について
④評議員の一部選任について

3) 決議の省略による書面での理事会

- (1) 議 案 ①監事辞任につき後任候補者選任の件
②臨時評議員会の件
- (2) 提案日 令和4年9月15日
- (3) 決議のあったものとみなされる日 令和4年9月28日

4) 決議の省略による書面での評議員会

- (1) 議 案 ①監事辞任につき後任者選任の件
- (2) 提案日 令和4年10月6日
- (3) 決議のあったものとみなされる日 令和4年10月25日

5) 第28回 理事会

- (1) 日 時 令和5年3月15日(水) 14:30~15:30
- (2) 場 所 芝パークホテル 別館アイビー
一部理事はテレビ会議システム (Zoom) による出席
- (3) 報 告 ①代表理事・業務執行理事の職務執行の状況報告
「令和4年度事業進捗状況について」並びに
「令和4年度資産運用状況及び令和5年度資産運用計画について」
- (4) 議 案 ①令和5年度事業計画及び収支予算について
②評議員の一部選任について
③事務局体制について
④今後の理事会・評議員会開催日程について

4. 委員会

1) 委員会の所管事項

(1) 企画委員会

理事会に提案する事項並びに理事会より委託を受けた事項。その他、財団事業運営の基本に関わる事項

(2) 審査委員会

定款第4条(1)に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業のうち、実習用機材・機械・工具等の提供に関し、具体的な対象校・対象内容ならびに自動車技術教育の振興に資する全国規模の活動に対する助成について審査・選考する事項

(3) 事業委員会

定款第4条に定める事業の企画・立案・推進および調整に関する事項
事業委員会の任務を遂行するために下記の部会を設ける

①技術教育部会

定款第4条(1)に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業に関する事項

②研修部会

定款第4条(2)に定める高等学校及び教諭を対象とした研修会の開催と講師派遣事業に関する事項

③調査普及部会

定款第4条(3)に定める国内外の交通実態に関する調査研究と情報提供事業、並びに同条(4)に定める自動車教育の普及啓発事業に関する事項

2) 委員会委員

令和5年3月31日現在

(五十音順 敬称略)

(1) 企画委員会 (9名)

委員長	荻野 勝彦	〔トヨタ自動車(株)	渉外部第一渉外室担当部長]
副委員長	細野 和美	〔日産自動車(株)	渉外部 担当部長]
委員	井上 良太	〔三井住友海上火災保険(株)	自動車営業推進部長]
委員	河村 周	〔損害保険ジャパン日本興亜(株)	自動車営業推進部長]
委員	栃木 理江	〔三菱自動車工業(株)	総務渉外部 担当マネージャー]
委員	春木 健	〔マツダ(株)	東京総務部長]
委員	堀江 哲朗	〔東京海上日動火災保険(株)	理事 自動車営業開発部長]
委員	山田 高裕	〔あいおいニッセイ同和損害保険(株)	自動車保険部長]
委員	吉田 秀彦	〔本田技研工業(株)	渉外部 担当部長]

(2) 審査委員会 (7名)

委員長	栗田 博康	〔(公財)東京都中小企業振興公社	魅力体験コーディネーター]
副委員長	上橋 義弘	〔(公財)日本自動車教育振興財団	専務理事]
委員	石井 末勝	〔東京都職業能力開発協会	ものづくりアドバイザー]
委員	荻野 勝彦	〔トヨタ自動車(株)	渉外部第一渉外室担当部長]
委員	加藤 秀次	〔日本工業大学	非常勤講師]
委員	田中 照久	〔(一社)日本自動車販売協会連合会	常務理事]
委員	渡邊 隆	〔(公社)全国工業高等学校長協会	事務局長]

(3) 事業委員会 (7名)

委員長	田中 照久	〔(一社)日本自動車販売協会連合会	常務理事]
副委員長	佐々木 修	〔(一社)日本損害保険協会	業務企画部長]
委員	海老澤 勲	〔(一社)全国軽自動車協会連合会	管理部総務課長]
委員	柴田 年輝	〔(一社)日本自動車連盟	交通環境部部長]
委員	高橋 徹	〔(一社)日本自動車整備振興会連合会	教育・技術部長]
委員	古川 博一	〔(一社)日本自動車工業会	総合政策領域部長]
委員	渡邊 隆	〔(公社)全国工業高等学校長協会	事務局長]

①技術教育部会 (8名)

部会長	渡辺 朋栄	〔三菱自動車工業(株)	サービス技術サポート部マネージャー]
副部会長	阿部 徹	〔日産自動車(株)	TCSX 国内サービス部 サービス技術渉外リーダー]
委員	黒田 卓也	〔トヨタ自動車(株)	国内サービス部 技術業務室 東京サービスグループ]
委員	片岡 保男	〔マツダ(株)	国内営業本部 店舗オペレーション支援部]
委員	木村 壮一	〔東京都立墨田工業高等学校	自動車科 教諭]
委員	杉野 栄一	〔東京都立六郷工科高等学校	オートモビル工学科 教諭]
委員	新倉 秀明	〔(一社)日本自動車機械工具協会	校正企画部 企画課 課長代理]
委員	吉原 大輔	〔本田技研工業(株)	日本本部お客様部サービス研修課主任]

②調査普及部会（8名）

部会長	橋本 勝也	〔(社)日本自動車会議所	理事〕
副部長	内藤 正史	〔トヨタ自動車(株)	渉外部 第1渉外室 主幹〕
委員	浅川 貴広	〔東京都立蒲田高等学校	主幹教諭〕
委員	金武 晃	〔東京海上日動火災保険(株)	自動車営業開発部 部長〕
委員	坂本 英樹	〔三井住友海上火災保険(株)	損害サポート業務部 業務チーム 課長〕
委員	竹村 公一	〔SOMPO リスクマネジメント(株)	自動車コンサルティング部 特命部長〕
委員	田中 裕司	〔(社)日本損害保険協会	業務企画部啓発・教育グループ 課長〕
委員	仲 信之	〔成蹊高等学校	教諭〕

③研修部会（8名）

部会長	八木橋 稔之	〔(社)日本自動車販売協会連合会	登録事業部 部長 兼 法務部 部長〕
副部長	山野 陽一	〔(社)日本自動車連盟	本部交通環境部 事業推進課 課長〕
委員	安部 敬	〔東京都立小松川高等学校	公民科 主任教諭〕
委員	市橋 天	〔日産自動車(株) 日産横浜自動車大学校	校長〕
委員	笠原 剛	〔(社)日本自動車整備振興会連合会	調査企画部 部長〕
委員	田口 寿	〔(社)全国軽自動車協会連合会	事業部 二輪事業担当部長〕
委員	田中 裕司	〔(社)日本損害保険協会	業務企画部啓発教育グループ 課長〕
委員	山本 一哉	〔本田技研工業(株) 経営企画統括部 環境企画部 技術渉外課 チーフエンジニア〕	

3) 委員会・部会 会議実績

(1) 企画委員会

①令和4年度第1回 令和4年5月11日（水） 14:00～15:00

- 議題 ・第27回理事会提案資料について
・第11回定時評議員会提案資料について

②令和4年度第2回 令和4年10月28日（金）15:00～16:00

- 議題 ・令和4年度財団事業進捗状況について

③令和4年度第3回 令和5年2月28日（火）15:00～16:00

- 議題 ・第28回理事会提案資料について

(2) 審査委員会

①第10回 令和4年8月1日（月） 11:00～12:00

※開催回は、公益財団法人移行後（平成24年4月～）の通算回数を表記。

- 議題 ・令和4年度自動車教育用教材提供の審査選考
（支援対象校及び支援内容の決定）
・助成先の決定

(3) 事業委員会

①令和4年度第1回 令和4年10月28日(木) 13:30~14:30

議題 ・令和4年度財団事業進捗状況について

②令和4年度第2回 令和5年2月28日(火) 13:30~14:30

議題 ・令和4年度事業進捗状況及び令和5年度事業計画(案)について

(4) 技術教育部会

①令和4年度第1回 令和4年5月25日(水) 16:00~17:00

議題 ・令和3年度 自動車教育用教材活用状況について
・令和4年度 自動車教育用教材メニュー(案)について
・令和4年度 技術系講師派遣について
・PIUS特別講習

②令和4年度第2回 令和4年7月26日(月) 16:15~17:15

議題 ・令和4年度 教材提供活動 応募状況について
・令和4年度 審査委員会 提案内容(案)について
・令和4年度 技術系講師派遣応募・実施状況について
・PIUS特別講習

③令和4年度第3回 令和4年10月24日(月) 16:00~17:00

議題 ・令和4年度 技術教育支援事業の上期進捗状況について

④令和4年度第4回 令和5年2月17日(金) 16:00~17:00

議題 ・令和5年度 財団事業活動方針について
・令和4年度技術教育支援事業実績ならびに令和5年度事業計画(案)

(5) 調査普及部会

①令和4年度第1回 令和4年10月24日(月) 14:30~15:30

議題 ・令和4年度 調査研究事業の進捗状況について
・令和4年度 普及啓発事業の進捗状況について

②令和4年度第2回 令和5年2月24日(金) 15:00~16:00

議題 ・令和5年度 財団事業活動方針について
・令和5年度 調査研究事業計画(案)について
・令和5年度 普及啓発事業計画(案)について

(6) 研修部会

①令和4年度第1回 令和4年10月24日(月) 13:30~14:30

- 議題
- ・令和4年度 研修事業進捗状況について
 - ・令和5年度 講師派遣 研修メニューについて

②令和4年度第2回 令和5年2月17日(金) 13:30~14:30

- 議題
- ・令和5年度 財団事業活動方針について
 - ・令和5年度 研修事業計画案について

5. 自動車教育推進協議会

各都道府県の自動車販売店協会、自動車整備振興会、軽自動車協会、日本自動車連盟支部、日本損害保険協会支部(一部地域は中古自動車販売協会を含む)により、47都道府県において自動車教育推進協議会が設置され、各都道府県を対象とした自動車教育の推進に取り組んでいる。

同推進協議会は独立した自主的組織として独自の活動に取り組む一方、弊財団と連携し、各都道府県における教材贈呈式及び教育懇談会の開催、研修会への専門講師派遣、自動車教育イベントへの協賛支援等に取り組んでいる。

令和4年度 教材贈呈式及び教育懇談会は教材提供全18県で実施した。また自動車技術教育関連イベントへの支援については、7件の依頼があったが、天候不順等により2件が中止となり5件の支援となった。

自動車教育推進協議会 設置状況一覧表

令和5年3月31日現在

名称	設置年月日 (平成)	会 長	事 務 局	
			事務局長	所在地(連絡先)
北海道自動車教育推進協議会	13.1.10	沖田 俊 弥	福 田 昇	札幌市東区北28条東1-2-3 札幌自動車会館 (Tel 011-753-5162)
青森県自動車教育推進協議会	8.5.17	小野 大 介	石 川 善 孝	青森市奥野1-12-3 (Tel 017-776-4211)
岩手県自動車教育推進協議会	14.3.20	千葉 理 平	宮 野 和 之	紫波郡矢巾町流通センター南2-8-3 (Tel 019-637-2881)
宮城県自動車教育推進協議会	12.11.1	渡 辺 広 章	菊 池 憲 満	仙台市宮城野区扇町3-3-10 宮城県交通会館 (Tel 022-232-1571)
福島県自動車教育推進協議会	12.12.1	小 室 和 人	安 藤 利 之	福島市吉倉字名倉1-1 (株)福自販会館 (Tel 024-546-1664)
秋田県自動車教育推進協議会	12.11.1	辻 良 之	佐々木 俊 幸	秋田市八橋大畑2-12-55 (Tel 018-862-1117)
山形県自動車教育推進協議会	12.11.1	小 関 眞 一	鏡 道 宏	山形市大字漆山字行段1422 (Tel 023-686-4521)
新潟県自動車教育推進協議会	13.11.1	町 田 一 越	太 田 武 司	新潟市中央区東出来島11-16 新潟県自動車会館 (Tel 025-285-6286)
長野県自動車教育推進協議会	13.5.23	宇都宮 進 一	遠 藤 丈 夫	長野市大字高田字五分一沖679-10 長野県自動車会館 (Tel 026-226-5416)
茨城県自動車教育推進協議会	14.10.1	加 藤 敏 彦	市 川 昌 幸	水戸市住吉町292-5 茨城県自動車会館 (Tel 029-247-4860)
栃木県自動車教育推進協議会	12.10.25	小 平 雅 久	鈴 木 忠 明	宇都宮市今宮2-4-6 栃木県自動車会館 (Tel 028-658-8811)
群馬県自動車教育推進協議会	14.9.1	星 崎 功 明	星 野 朗	前橋市野中町564 群馬自販会館 (Tel 027-261-0830)
埼玉県自動車教育推進協議会	18.10.1	茂 木 喜 明	塩 原 良 二	さいたま市西区大字中釘2255 (株)埼玉自販会館(Tel 048-623-1211)
千葉県自動車教育推進協議会	14.4.1	出 野 祥 平	齊 藤 充 弘	千葉県美浜区新港207 (Tel 043-242-3321)
東京都自動車教育推進協議会	17.11.18	加 藤 和 夫	高 橋 哲 哉	品川区西五反田4-32-9 東京日産西五反田ビル1号館(Tel 03-3491-8241)
神奈川県自動車教育推進協議会	14.10.1	上 野 健 彦	大 蔵 幸 雄	横浜市都筑区池辺町3663 神奈川県自販会館 (Tel 045-933-3626)
山梨県自動車教育推進協議会	15.5.30	佐々木 宏 明	輿 石 光 彦	笛吹市石和町唐栢1000-7 山梨県自動車販売店会館(Tel 055-263-3001)
富山県自動車教育推進協議会	12.12.1	品 川 祐 一 郎	石 橋 浩 明	富山市新庄町字馬場18-8 富山県自販会館 (Tel 076-425-8353)
石川県自動車教育推進協議会	12.12.1	小 杉 雄 二	松 田 等	金沢市直江東2-122-1 (Tel 076-238-5177)
福井県自動車教育推進協議会	12.12.6	浮 田 啓 三	安 藤 和 博	福井市西谷1-1401 福井県自動車会館 (Tel 0776-34-1622)
岐阜県自動車教育推進協議会	17.10.24	加 藤 元 康	藤 川 正 人	岐阜市日置江2648-2 岐阜県自動車会館 (Tel 058-279-3761)
静岡県自動車教育推進協議会	16.2.18	太 田 勝 之	古 屋 勝 治	静岡市駿河区国吉田2-4-35 静岡県自販会館(Tel 054-261-2177)
愛知県自動車教育推進協議会	15.10.1	小 林 剛	伊 藤 敏 男	名古屋市中川区昭和橋通4-8-2 愛知県自販会館(Tel 052-353-6161)
三重県自動車教育推進協議会	13.3.10	岩 井 純 朗	福 田 泰 尚	津市雲出長常町字六ノ割1190-1 三重県自動車会館所会館(Tel 059-234-4567)
滋賀県自動車教育推進協議会	15.2.1	中 嶋 善 夫	井 戸 木 亘	守山市木浜町2299-12 滋賀県自販会館 (Tel 077-585-7292)
京都府自動車教育推進協議会	14.9.1	澤 井 孝 之	小 林 寛 二	京都市伏見区竹田向代町51-5 京都自動車会館 (Tel 075-671-6121)
大阪府自動車教育推進協議会	18.11.1	久 保 尚 平	大 塚 啓 次	寝屋川市高宮栄町13-1 (Tel 072-821-5522)
兵庫県自動車教育推進協議会	13.7.1	瀧 川 高 章	木 村 淳 三	神戸市東灘区魚崎浜町33 兵庫県自動車会館 2F(Tel 078-441-1501)
奈良県自動車教育推進協議会	15.3.1	菊 池 攻	澤 島 弘 之	大和郡山形市額田部北町981-8 (株)奈良県自動車会館(Tel 0743-56-8458)
和歌山県自動車教育推進協議会	12.11.1	清 水 昇	大 蔵 留 治	和歌山市湊1106 和歌山県自動車会館 (Tel 073-422-2027)
鳥取県自動車教育推進協議会	15.4.14	米 原 良	但 住 和 雄	鳥取市丸山町246-1 (Tel 0857-24-6171)
島根県自動車教育推進協議会	14.11.1	野々村 健 造	久保田 茂 実	松江市馬淵町43-4 (Tel 0852-37-0044)
岡山県自動車教育推進協議会	14.11.1	梶 谷 俊 介	谷 本 博 志	岡山市北区富吉5301-8 (株)岡山県自動車会館2F(Tel 086-259-3000)
広島県自動車教育推進協議会	11.9.1	藤 井 一 裕	村 上 弘 人	広島市西区観音新町4-13-13-3 広島県自動車会館 (Tel 082-232-4418)
山口県自動車教育推進協議会	11.3.1	小 川 秀 夫	藤 原 裕 宜	山口市葵1-5-58 山口県自動車会館 (Tel 083-922-0909)
徳島県自動車教育推進協議会	8.12.16	北 島 義 貴	三 宅 徳 明	徳島市心神町応神産業団地1-6 徳島県自動車会館(Tel 088-641-2665)
香川県自動車教育推進協議会	17.1.1	星 合 貴 彦	一 宮 軌 善	高松市香西東町278-1 (Tel 087-881-4996)
愛媛県自動車教育推進協議会	14.9.1	松 田 卓 恵	竹 葉 晃	松山市森松町1075-2 (Tel 089-956-2747)
高知県自動車教育推進協議会	15.7.29	佐 藤 誠 三	秋 山 教 二 郎	高知市大津乙1879-5 高知県自動車会館 (Tel 088-866-6000)
福岡県自動車教育推進協議会	13.12.1	金 野 誠	川 原 芳 昭	福岡市東区千早3-9-23 福岡交通会館 (Tel 092-681-5963)
佐賀県自動車教育推進協議会	13.8.1	前 田 博 憲	本 村 修 紹	佐賀市若楠2-7-1 佐賀県自販会館 (Tel 0952-31-1335)
長崎県自動車教育推進協議会	15.2.1	円 田 浩 司	平 田 泰 範	長崎市中里町1576-7 長崎県自販連会館 (Tel 095-839-2611)
熊本県自動車教育推進協議会	12.11.1	西 治 三 朗	松 本 伸 二	熊本市東区東町4-14-8 熊本県自動車会館 (Tel 096-365-0638)
大分県自動車教育推進協議会	10.6.15	橋 本 仁	岩 尾 豊 樹	大分市大津町3-4-13 大分交通会館1F (Tel 097-558-7791)
宮崎県自動車教育推進協議会	15.7.11	佐土嶋 恒 夫	中 武 光 博	宮崎市大字本郷北方字鶴戸尾2735-25 宮崎県自販会館(Tel 0985-51-8255)
鹿児島県自動車教育推進協議会	14.3.1	中 村 博 之	町 田 昇 二	鹿児島市谷山港2-4-9 鹿児島県自動車会館 (Tel 099-262-0011)
沖縄県自動車教育推進協議会	8.2.14	野 原 朝 昌	尾 比 久 隆	浦添市港川512-8 沖縄県自動車会館 (Tel 098-877-5225)

〔Ⅲ〕 事業活動

1. 自動車技術教育支援事業

1) 機材提供活動

令和4年度はキャブレターエンジンの廃止、電子制御エンジン（リサイクルエンジン）のメニュー簡素化により、従来の30メニューから28メニューへ変更した。また、令和3年度に作成した汎用エンジン分解・組立解説動画をHPへ掲載、併せて付属工具の見直しを行った。

公募は18県272校（全国工業高等学校長協会、全国総合学科高等学校長協会、全国自動車教育研究会の3団体に加盟している高校）を対象に実施、全県から前回（令和元年度）とほぼ同数の91校から応募があった。

これらの応募について、8月1日に開催した審査委員会での厳正な審査・選考の結果、応募のあった91校全てに自動車技術教育用教材の提供を決定した。

なお、これらの教材の提供は令和4年度内に各高校へ発送済みであり、令和5年度において各校の教育現場にて活用予定である。

令和4年度 自動車教育用教材メニュー一覧



(1) 教材別応募状況

教材区分別構成比は視聴覚教材 27.5%、初級教材 53.8%、中級教材 11.0%、上級教材 7.7%であった。

第一希望における一番人気の教材は「分解組立用エンジン（汎用126cc）」（A～Cの3コースで27校が応募、全体の29.7%）であった。次いで「CD教材②（自動車の基礎とエンジン作動）」「分解組立用電子制御エンジン（660cc・1300cc）」（両教材とも10校が応募、全体の11.0%）であった。

「分解組立用エンジン（汎用126cc）」は令和3年度において解説動画（分解編・組立編の2本）を作成するとともにHPに掲載。使用する付属工具も見直しを実施。分解組立実習が初

めてといった先生にもイメージしやすいよう作業手順、使用工具、注意事項を盛り込み、組立・分解の作業前に本ビデオを視聴することで、生徒の理解も深まり、効率的・効果的な学習を可能とした。本効果もあり、応募校が27校と増加した。(前回18校)

(2) 応募及び審査結果

公募地域 (A地区)	秋田・山形・群馬・山梨・新潟・長野・徳島・香川・愛媛・高知・福岡・ 熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	合計18府県(対象校は272校)
応募校数	18県、91校	
支援校数	18県、91校	累計支援校数(平成3年からの累計数): 2,294校

【教材別提供校数】

学習区分	NO.	教材名	提供校数
視聴覚教材	1	DVD教材(自動車の基礎・電気)	1
視聴覚教材	2	DVD&デジビデオ(自動車のメカニズム)	1
視聴覚教材	3	CD教材①(ハイブリッド自動車と充電装置)	0
視聴覚教材	4	CD教材②(自動車の基礎とエンジンの作動)	10
視聴覚教材	5	CD教材③(動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動)	1
視聴覚教材	6	モーター基礎実験セット(自動車の電気・電子技術)	3
視聴覚教材	7	動く掛図(4サイクル・2サイクル)	1
視聴覚教材	8	4サイクルガソリンエンジン説明模型	3
視聴覚教材	9	ハイブリッドシステム説明模型	2
視聴覚教材	10	駆動用ギヤ学習セット	2
視聴覚教材	11	模型で学ぶセンサー技術(自動走行)	1
視聴覚教材	12-A	サスペンション模型 A	0
視聴覚教材	12-B	サスペンション模型 B	0
視聴覚教材	13	四輪ホイールアライメント教材	0
初級教材	14-A	分解組立用エンジン(汎用126cc) A	11
初級教材	14-B	分解組立用エンジン(汎用126cc) B	2
初級教材	14-C	分解組立用エンジン(汎用126cc) C	14
初級教材	15-A	分解組立用電子制御エンジン 660cc A	1
初級教材	15-B	分解組立用電子制御エンジン 660cc B	5
初級教材	15-C	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc C	4
初級教材	15-D	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc D	0
初級教材	16	実習用工具セット	1
初級教材	17-A	実習用工具トルクレンチ A	4
初級教材	17-B	実習用工具トルクレンチ B	0
初級教材	17-C	実習用工具トルクレンチ C	1
初級教材	18	急速充電器	3
初級教材	19	低床型手動ジャッキ 足踏付 2t	2
初級教材	20	簡易型エンジンスタンド	0
中級教材	21	トレーニングサーキット	0
中級教材	22	燃料電池実験キット	3
中級教材	23	燃料電池システム(エコラン大会用)	0
中級教材	24	ビデオスコープ	1
中級教材	25	灯火回路実習装置	4
上級教材	26-A	実車(中古車・ヴィッツ) A	2
上級教材	26-B	実車(中古車・マーチ) B	1
上級教材	26-C	実車(中古車・フィット) C	0
上級教材	26-D	実車(中古車・デミオ) D	0
上級教材	26-E	実車(中古車・コルト) E	0
上級教材	26-F	実車(中古車・プリウス) F	1
上級教材	27	エンジン実習装置	5
上級教材	28	スキャンツール(外部故障診断装置)	1

(3) 自動車教育用教材活用報告書について

令和3年度に教材提供した高校を対象に、令和4年度における自動車教育用教材の活用状況を集約した。集約内容を技術教育部会で報告し、今後の活動の参考資料とした。

学習区分	No.	教材名	提供校数	活用生徒数
視聴覚教材	1	自動車の基礎・電気	1	40
視聴覚教材	2	自動車の基礎とエンジンの作動	3	594
視聴覚教材	3	動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動	1	30
視聴覚教材	4	自動車の電気・電子技術/モーター基礎実験セット	2	221
視聴覚教材	5	ハイブリッド自動車と充電装置	0	0
視聴覚教材	6	DVD&デジビデオ『自動車のメカニズム』	0	0
視聴覚教材	7	動く掛図 4サイクル・2サイクル	1	21
視聴覚教材	8	説明模型 4サイクルガソリンエンジン	1	68
視聴覚教材	9	ハイブリッドシステム 模型	2	42
視聴覚教材	10	駆動用ギヤ学習セット	0	0
視聴覚教材	11	模型で学ぶ センサー技術 (自動走行)	1	10
視聴覚教材	12	サスペンション 模型 A	0	0
視聴覚教材	13	四輪ホイールアライメントモデル	1	20
初級教材	14	分解組立用エンジン (汎用 126cc)	35	719
初級教材	15	分解組立用キャブレターエンジン 660cc	1	120
初級教材	16	分解組立用電子制御エンジン 軽自動車 660cc	4	133
初級教材	17	分解組立用電子制御エンジン 小型車 1300cc	3	204
初級教材	18	実習用工具セット	14	903
初級教材	19	実習用工具 トルクレンチ	3	447
初級教材	20	急速充電器	6	328
初級教材	21	低床型手動ジャッキ 足踏み付け 2t	2	156
初級教材	22	エンジンスタンド (簡易型)	1	76
中級教材	23	トレーニングサーキット	2	93
中級教材	24	燃料電池実験キット	0	0
中級教材	25	燃料電池システム (エコラン大会用)	5	145
中級教材	26	ビデオスコープ	0	0
中級教材	27	灯火回路実習装置	0	0
上級教材	28	実車 (中古車)	5	398
上級教材	29	エンジン実習装置	2	108
上級教材	30	スキャンツール (外部故障診断装置)	6	265

2) 教員支援活動

教材提供活動の一環として、エンジン教材を提供した高校を対象に、授業での有効活用と教育効果を高めてもらうことを目的に「フォロー指導」を実施した。

(1) 訪問指導等実施

汎用エンジンを提供した以下 27 校に対し教材納入時期にあわせて同エンジンメーカー専門家が指導教諭に対して教材活用方法や安全管理等に関するアドバイスを行った。

No.	学校名	納品日	訪問日
1	山形県立寒河江工業高等学校	9月21日	不要(2019年訪問済)
2	新潟県立中条高等学校	9月26日	10月24日
3	新潟県立新潟県央工業高等学校	9月26日	10月24日
4	群馬県立前橋工業高等学校	9月21日	11月21日
5	群馬県立藤岡工業高等学校	9月21日	11月21日
6	群馬県立富岡実業高等学校	9月21日	11月22日
7	群馬県立高崎工業高等学校	9月26日	11月22日
8	長野県駒ヶ根工業高等学校	9月26日	(コロナ対策でWEB対応)
9	山梨県立甲府工業高等学校	9月26日	12月6日
10	山梨県立青洲高等学校	9月26日	12月6日
11	徳島県立徳島科学技術高等学校	9月26日	11月17日
12	香川県立高松工芸高等学校	9月26日	11月16日
13	香川県立観音寺総合高等学校	9月26日	11月16日
14	愛媛県立松山工業高等学校	9月21日	不要(2019年訪問済)
15	学校法人松山聖陵学園 松山聖陵高等学校	9月21日	11月15日
16	愛媛県立新居浜工業高等学校	9月26日	11月15日
17	福岡県立三池工業高等学校	9月26日	10月26日
18	学校法人九州電機工業学園 希望が丘高等学校	9月26日	11月9日
19	福岡県立戸畑工業高校	9月26日	10月27日
20	大分県立中津東高等学校	9月26日	10月25日
21	佐賀県立唐津工業高等学校	9月26日	10月11日
22	熊本県立御船高等学校	9月26日	10月24日
23	学校法人豊栄学園 都城東高等学校	9月26日	10月28日
24	宮崎県立小林秀峰高校	9月26日	10月28日
25	鹿児島県立曾於高等学校	9月26日	11月25日
26	鹿児島県立鹿屋工業高等学校	9月26日	11月25日
27	鹿児島県立吹上高等学校	9月26日	11月24日

(2) 「分解・組立解説 DVD」の提供

分解組立用電子制御エンジンを提供した以下 10 校に対し、教材納入時期に合わせて整備マニュアルと専門指導員による指導内容を撮影した「分解・組立解説 DVD」を提供した。

No.	学校名	提供教材
1	山梨県立富士北稜高等学校	三菱 エンジン(660cc) 4 台
2	新潟県立佐渡総合高等学校	三菱 エンジン(660cc) 2 台
3	香川県立多度津高等学校	ホンダ エンジン(660cc) 2 台
4	学校法人新田学園 新田高等学校	三菱 エンジン(660cc) 2 台
5	鹿児島県立川内商工高等学校	ホンダ エンジン(660cc) 4 台
6	鹿児島県立加治木工業高等学校	ホンダ エンジン(660cc) 4 台
7	山形県立米沢工業高等学校	マツダ エンジン(1,300cc) 4 台
8	学校法人明生学園 山形明生高等学校	マツダ エンジン(1,300cc) 4 台
9	沖縄県立美来工科高等学校	ホンダ エンジン(1,300cc) 4 台
10	沖縄県立那覇工業高等学校	ホンダ エンジン(1,300cc) 4 台

3) 協賛支援活動（助成金）

公募期間中に 1 件の申請（第 64 回全国自動車教育大会）があり、審査委員会で承認された。

4) 交流促進活動

教材提供地域全 18 県にて贈呈式・教育懇談会を実施した。コロナ禍により出席人数を絞り込んだ開催とし、参加者を絞ることにより、限られた時間の中で有意義な意見交換・質疑応答の場となった。

高知県において初の試みとして、贈呈式をディーラー本社にて開催、その後ディーラー店舗の見学会を実施し、教育懇談会にて意見交換を行った。参加した先生からは「整備工場を見学することにより、現場環境が大きく改善していることを実感し、ディーラーに対する印象が変わった」等、多くの気づきがあったとのことで、有意義な見学会となった。

令和4年度 自動車教育用教材提供校一覧表

県名		学校名	機材名	数量
秋田	1	秋田県立秋田工業高等学校	モーター基礎実験セット（自動車の電気・電子技術）	1セット
	2	秋田県立小坂高等学校	CD教材（自動車の基礎とエンジンの作動）	1セット
	3	秋田県立大曲工業高等学校	駆動用ギヤ学習セット	1セット
	4	秋田県立男鹿工業高等学校	実車（中古車・ノート）	1台
山形	1	山形県立山形工業高等学校	モーター基礎実験セット（自動車の電気・電子技術）	1セット
	2	山形県立寒河江工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン4台
	3	山形県立村山産業高等学校	実車（中古車・ヴィッツ）	1台
	4	山形県立米沢工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc	エンジン4台、他
	5	山形県立明正高等学校	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc	エンジン4台、他
	6	創学館高等学校	灯火回路実習装置	1セット
群馬	1	群馬県立前橋工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン4台
	2	群馬県立高崎工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン3台、他
	3	群馬県立新田暁高等学校	実習用工具セット	4セット
	4	群馬県立渋川工業高等学校	エンジン実習装置	1台
	5	群馬県立藤岡工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン4台
	6	群馬県立富岡実業高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン4台
山梨	1	山梨県立甲府工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン3台、他
	2	山梨県立甲府城西高等学校	4サイクルガソリンエンジン説明模型	1台
	3	山梨県立富士北稜高等学校	分解組立用電子制御エンジン 660cc	エンジン4台、他
	4	山梨県立青洲高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン3台、他
新潟	1	新潟県立新潟工業高等学校	CD教材（自動車の基礎とエンジンの作動）	1セット
	2	新潟県立巻総合高等学校	4サイクルガソリンエンジン説明模型	1台
	3	新潟県立新津工業高等学校	実習用工具トルクレンチ	1セット
	4	新潟県立中条高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン3台、他
	5	新潟県立長岡工業高等学校	CD教材（自動車の基礎とエンジンの作動）	1セット
	6	新潟県立新潟県央工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン3台、他
	7	新潟県立佐渡総合高等学校	分解組立用電子制御エンジン 660cc	エンジン2台、他
長野	1	長野県長野工業高等学校 定時制	CD教材（自動車の基礎とエンジンの作動）	1セット
	2	長野県上田千曲高等学校	実習用工具セット	4セット
	3	長野県駒ヶ根工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン3台、他
	4	長野県飯田OIDE長姫高等学校	燃料電池実験キット	5セット
徳島	1	徳島県立徳島科学技術高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン3台、他
	2	徳島県立徳島科学技術高等学校定時制	CD教材（自動車の基礎とエンジンの作動）	1セット
	3	徳島県立阿南光高等学校	低床型手動ジャッキ 足踏付 2t	1セット
香川	1	香川県立高松工芸高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン3台、他
	2	香川県立坂出工業高等学校	エンジン実習装置	1台
	3	香川県立多度津高等学校	分解組立用電子制御エンジン 660cc	エンジン2台、他
	4	香川県立観音寺総合高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン3台、他
愛媛	1	愛媛県立新居浜工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン3台、他
	2	愛媛県立東予高等学校	CD教材（自動車の基礎とエンジンの作動）	1セット
	3	愛媛県立松山工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン4台
	4	愛媛県立吉田高等学校	実習用工具トルクレンチ	1セット
	5	新田高等学校	分解組立用電子制御エンジン 660cc	エンジン2台、他
	6	松山聖陵高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン4台
高知	1	高知県立高知工業高等学校	低床型手動ジャッキ 足踏付 2t	1セット
	2	高知県立須崎総合高等学校	CD教材（自動車の基礎とエンジンの作動）	1セット

県名		学校名	機材名	数量
福岡	1	福岡県立荻田工業高等学校	CD教材（自動車の基礎とエンジンの作動）	1セット
	2	福岡県立戸畑工業高校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン 3 台、他
	3	福岡県立三池工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン 4 台
	4	福岡県立八女工業高等学校	モーター基礎実験セット（自動車の電気・電子技術）	1セット
	5	福岡県立嘉穂総合高等学校	急速充電器	1 台
	6	福岡市立博多工業高等学校	CD教材（自動車の基礎とエンジンの作動）	1セット
	7	真凧館高等学校	スキャンツール（外部故障診断装置）	1 台
	8	豊国学園高等学校	ハイブリッドシステム説明模型	1セット
	9	飯塚高等学校	4 サイクルガソリンエンジン説明模型	1 台
	10	祐誠高等学校	エンジン実習装置	1 台
	11	希望が丘高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン 4 台
佐賀	1	佐賀県立唐津工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン 3 台、他
	2	北陵高等学校	エンジン実習装置	1 台
	3	敬徳高等学校	灯火回路実習装置	1セット
長崎	1	長崎県立長崎工業高等学校	エンジン実習装置	1 台
	2	長崎県立島原工業高等学校	燃料電池実験キット	5セット
	3	佐世保実業高等学校	燃料電池実験キット	5セット
熊本	1	熊本県立御船高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン 3 台、他
	2	熊本県立水俣高等学校	実習用工具トルクレンチ	1セット
	3	熊本県立鹿本商工高等学校	駆動用ギヤ学習セット	1セット
	4	熊本県立熊本工業高等学校	実車（中古車・ヴィッツ）	1 台
	5	熊本県立八代工業高等学校	灯火回路実習装置	1セット
	6	熊本県立天草工業高等学校	ハイブリッドシステム説明模型	1セット
	7	熊本県立翔陽高等学校	模型で学ぶセンサー技術（自動走行）	1セット
大分	1	大分県立大分工業高等学校	DVD教材（自動車の基礎・電気）	1セット
	2	大分県立津久見高等学校	CD教材（動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動）	1セット
	3	大分県立日田林工高等学校	実習用工具トルクレンチ	1セット
	4	大分県立中津東高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン 3 台、他
	5	大分高等学校	急速充電器	1 台
宮崎	1	宮崎県立日向工業高等学校	DVD&デジビデオ（自動車のメカニズム）	1セット
	2	宮崎県立宮崎工業高等学校	急速充電器	1 台
	3	宮崎県立小林秀峰高校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン 3 台、他
	4	鵬翔高等学校	ビデオスコープ	1 台
	5	都城東高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン 4 台
鹿児島	1	鹿児島県立鹿児島工業高等学校	動く掛図（4 サイクル・2 サイクル）	1セット
	2	鹿児島県立穎娃高等学校	CD教材（自動車の基礎とエンジンの作動）	1セット
	3	鹿児島県立吹上高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン 3 台、他
	4	鹿児島県立川内商工高等学校	分解組立用電子制御エンジン 660cc	エンジン 2 台、他
	5	鹿児島県立加治木工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 660cc	エンジン 2 台、他
	6	鹿児島県立曾於高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン 4 台
	7	鹿児島県立鹿屋工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用 126cc）	エンジン 4 台
沖縄	1	沖縄県立美来工科高等学校	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc	エンジン 4 台、他
	2	沖縄県立那覇工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc	エンジン 4 台、他
	3	沖縄県立宮古工業高等学校	実車（中古車・プリウス）	1 台、他
	4	沖縄県立八重山商工高等学校	実習用工具セット	4セット

< 県別内訳 >

秋田 4 校 山形 6 校 群馬 6 校 山梨 4 校 新潟 7 校 長野 4 校 徳島 3 校 香川 4 校 愛媛 6 校
高知 2 校 福岡 11 校 佐賀 3 校 長崎 3 校 熊本 7 校 大分 5 校 宮崎 5 校 鹿児島 7 校 沖縄 4 校
合計: 18 県 91 校

2.調査研究事業

1) 調査活動

高校生・先生方のクルマに対する関心高揚や理解向上を図るべく、「交通」「環境」「交通安全」の3テーマを軸に、国内外の交通調査等を実施し、情報収集とノウハウの蓄積に努めた。


(1) 海外調査の実施

3年ぶりの実施となった海外調査は、シンガポールにおける自動運転技術開発および電動化をテーマとした。

高齢化が急速に進む同国では、2050年には高齢者が人口の1/3以上に達する。これに伴い、公共サービスの担い手不足が見込まれるため、自動運転技術の開発対象をバス・トラックの大型車やロボットに絞っている。同技術の開発を進めるべく、公道における実証実験に必要な基準の設定や自動運転車の性能評価を行う自動運転車の試験・研究センターを創設。また、試験走行エリアは同国の西部全域を対象とし、合計1,000km以上の公道で実施可能となっている。配送ロボットについては、ロボット開発を手掛ける一部メーカーの製品の安全性・信頼性が当局に認められ、チャンギ国際空港の第3ターミナルで稼働している。さらに、2023年3月からは食料や料理の配達事業での活用が予定されている。これらの配送ロボットは日本と異なり、遠隔監視が不要である。

尚クルマの電動化については、2040年までにエンジン車の販売・登録を禁止する目標があり、EVの購入や充電インフラの設置に対し、インセンティブが設けられている。但し、交通渋滞対策としてクルマの保有台数を制限し、購入時に多額の税金・登録料などを課す中、電動化による環境の改善効果がどの程度あるのか疑問が残る。

【海外調査の概要】

日程	令和4年11月20日(日)～24日(木)
目的	自動運転技術の実用化・普及に注力するシンガポールでの同技術開発、関連法整備等の取り組みを調査し、今後の同技術及び搭載車両の拡大に向けた知見を得る。また、上述技術との親和性が高い電動車両の普及へ取り組みなど、同国における気候変動対策の現状を把握する。
調査先	シンガポール
調査の様子	 <p>▲空港で稼働中の自動配送ロボット(写真左)とEVシェアリング専用の駐車場(同右)</p>

(2) 国内調査の実施

国内の交通事情調査を3回実施した。

第1回は、脱炭素社会実現への有効策のひとつと見込まれるスマートシティでのEMS(電力融通に使用される機器:EV充放電器、太陽光、蓄電池システムを制御)について、6月に東京都の株式会社Loop、7月に埼玉県浦和美園Eフォレストにて取材を行った。




“電力の自給自足”を広めていくためには、費用や効果の点で「個別住宅」より「スマートタウン」に優位性がある。また脱炭素に効果的で、地域単位で導入できる電力を生み出

す仕組みとしては、現時点では太陽光の活用が現実的である。太陽光発電システムの導入について、如何にして持続可能性のある仕組みを構築していけるかが課題といえる。

第2回は、脱炭素社会実現における石炭火力発電の役割・必要性をテーマに関連情報の収集、考察を行った。太陽光を始めとした再生可能エネルギーは天候に左右されやすく、再生可能エネルギーによる発電量が増えれば増えるほど、その発電量の変動をカバーするための火力発電の重要性も増す。安定的な供給力や経済性に優れるメリットを活かしながら、デメリットである二酸化炭素排出の低減が期待できる新たな石炭火力発電（バイオマス、アンモニアとの混焼 他）が普及すれば、脱炭素の流れに沿いつつその有効活用も可能になる。また、石炭火力発電技術のトップを行く日本が世界に対し貢献するには、社会の安定や経済の発展を差し置いて再生可能エネルギーだけに注力するのではなく、非効率な石炭火力発電を使用する国々へ日本の高い技術を展開することに注力すべきである。

第3回は、自治体での自転車活用推進に向けた環境整備の取り組みについて、2月に東京都、3月に長崎県にて取材を行った。現在の自転車活用推進計画は、国が提示するガイドラインに基づき、各自治体の実情に合わせて詳細計画を策定・推進する形となっている。このため各自治体の取り組みは、既存の組織・担当の範疇での対応に留まっている。自転車の更なる利用促進には、現在の利用者の特性・ニーズを把握し、それに応じた施策を実行すると共に、安全利用に向けた環境づくり（安全走行を可能にするインフラ整備、ルール遵守啓発・取り締まり強化 など）を進めることが必要ではないか。

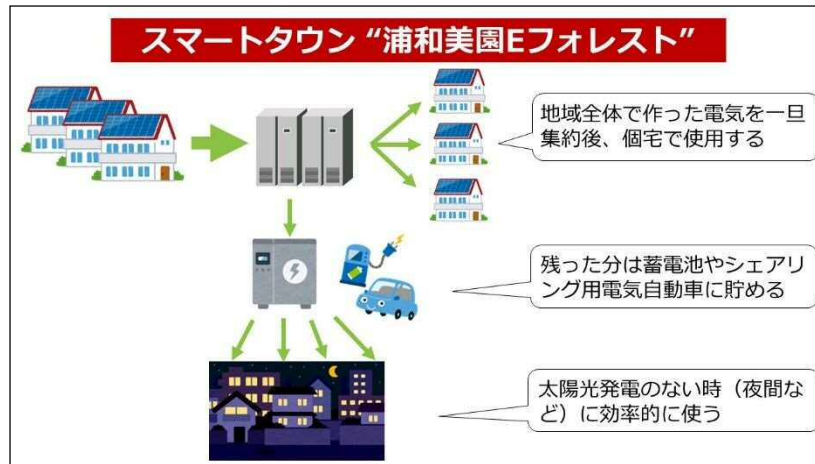
【国内調査の概要】

	第1回目	第2回目	第3回目
日程	6/29（水）、7/6（水）	—	2/16（木）、3/17（金）
目的	脱炭素社会実現への有効策のひとつと見込まれる、スマートシティでのエネルギーマネジメントシステム導入の現状と課題を探る。	安定供給などが課題の再エネ発電に頼らず、日本が持つ石炭の高効率発電技術の活用で脱炭素化に大きく寄与できる可能性を訴求。	2017年5月の自転車活用推進法施行に伴い、現在各自治体が行っている自転車活用推進計画の進捗、効果と課題を探る。
調査先	東京都／埼玉県	(文献等調査)	東京都／長崎県
調査の様子	 <p>▲スマートタウン「浦和美園 E フォレスト」(埼玉県)</p>	 <p>▲石炭火力発電が、需要に応じた発電量の調整弁である点を解説</p>	 <p>▲路上駐車帯の左側に設けられた自転車レーン (東京都)</p>

2) 教材作成活動

(1) 動画の作成

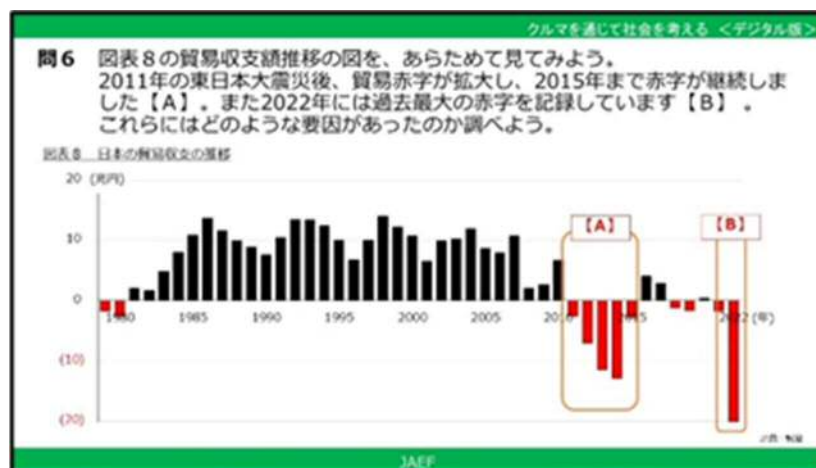
国内調査や海外の最新動向に関する情報収集結果については、財団の調査普及部会や企画委員会・事業委員会などで報告するとともに、動画化した上で財団の動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』に掲載した。



▲調査報告動画「脱炭素社会は、“電力の自給自足”から」より

(2) 副教材の作成・提供

過去に冊子として発行した副教材『クルマを通じて社会を考える』の掲載情報やデータを更新した“デジタル版”を順次制作。授業形態の多様化や生徒の自主学習にも対応できる仕様としている。当年度は同教材を構成する全6章の内、「III 環境問題と政策」「IV 現代の企業・産業構造の変化」「V 国際経済」「VI 自転車事故と損害賠償」を制作し、ウェブサイトで公開した。（「I 地球温暖化」「II 資源・エネルギー問題」は令和3年度に制作済）



▲『クルマを通じて社会を考える<デジタル版>』

「V 国際経済」より

3. 研修事業

1) 財団研修活動

文部科学省や各教育委員会の後援及び各高等学校教育関係団体からの協賛を得て、「効果的な交通安全教育手法」を研修テーマに、JAEF 研修会（高等学校の教員を対象に財団が主催する研修会）を開催した。

愛知、静岡、東京の順に 3 会場にて開催した研修会には、全国より高等学校の教員等 89 名が参加し、いずれも参加者から高い評価をいただいた（各回参加者アンケートで 5 段階評価のうち「大変良い」「良い」の上位合計が 91%）。

また東京会場の研修会では、対面方式に加えて講演動画を編集作成し、後日財団ホームページに掲載したことで、当日会場参加が叶わなかった先生方へ広く受講機会を提供することができた。

【令和 4 年度 J A E F 研修会開催実績】

開催日	会場	講演テーマ、講師及び見学施設	参加人数
7 月 28 日	三菱自動車工業 岡崎製作所 (愛知県)	【講演】 「持続可能な社会の実現に向けた三菱自動車の取り組み ・三菱の PHEV について」 ～ DENDO コミュニティサポートプログラムの推進 ～ 講師：三菱自動車工業株式会社総務渉外部兼軽 EV 推進室 担当部長 大石 博基 氏 【見学、説明】 「工場見学、三菱オートギャラリー見学、実車説明」	29 名
8 月 2 日	トヨタ 交通安全センター モビリティ (静岡県)	【講演・体験】 「車中泊避難プログラム」 講師：トヨタ自動車株式会社 社会貢献推進部 共生社会推進室 主任 高澤 幸子 氏・鴨田 みずほ 氏 カーネル株式会社 代表取締役 大橋 保之 氏 【運転実習】 「安全運転トレーニング実習」	30 名
8 月 9 日	日本自動車会館 (東京都)	【講演】 第一部 「持続可能な未来に向け 自動車産業が果たすべき気候変動対策」 講師：本田技研工業株式会社 経営企画統括部 環境企画部 技術渉外課 チーフエンジニア 山本 一哉 氏 第二部 「自転車と多様な移動手段の現状と安全対策」 講師：特定非営利活動法人 自転車活用推進研究会 理事長 小林 成基 氏 ＊各講演内容は 9 月 16 日に動画公開（URL を送付）	30 名

2) 講師派遣活動

学校関係団体が主催する研修会及び高等学校が生徒を対象に開催する講習会等への講師派遣活動について、例年どおり全国公募を行った。講師派遣メニューでは、自動車技術教育と交通社会教育からなる 16 メニューを用意した。新型コロナウイルスの影響が続く中、令和 3 年度より交通安全メニューにて本格的に展開したオンライン形式の研修会を前年並みの 56 件開催した。通常の集合研

修との併用が定着し、講師派遣活動全体でキャンセルが29件（前年差▲56件）と大幅に抑制できた。その結果、開催回数は286件（同+4件）、参加者は79,661名（同▲8,720名）となった。

286件の内訳は、区分別に「自動車技術」24回、「環境・交通技術」8回、「交通安全」254回であった。

講師は研修テーマに合わせて関係団体・企業の専門家を派遣しているが、本年度は286回中278回について日本自動車連盟各支部、日本損害保険協会各支部、各地域の自動車整備振興会や自動車販売会社といった地元講師の皆様にご協力いただいた（詳細は【資料1-2】を参照）。

【令和4年度講師派遣メニューと派遣件数】

区分	ジャンル	研修メニュー	派遣講師 (派遣団体・企業)	派遣件数 (うちオンライン)	参加人数
自動車技術教育	自動車の最新技術 〔講演型〕	① トヨタ・ハイブリッド車について	トヨタ系ディーラー	6	350
		② 日産・電気自動車について	日産系ディーラー	6	312
		③ ホンダ・e:HEVについて	ホンダ系ディーラー	2	77
		④ マツダ・SKYACTIV エンジンと最新技術について	マツダ	2	120
		⑤ 三菱・プラグインハイブリッド車について	三菱自動車工業	6	165
	自動車の整備技術 〔体験型〕	⑥ ガソリンエンジンの分解・組立	整備振興会	1	2
		⑦ トランスミッションの分解・組立	整備振興会	0	0
		⑧ 電子制御エンジンの構造と点検・整備	整備振興会	1	20
自動車技術教育 計				24	1,046
交通社会教育	環境技術	⑨ 地球温暖化防止と自動車技術	自動車関係団体他	7	195
	交通技術	⑩ 交通技術と社会のあり方 (自動運転技術の現状と方向性)	自動車関係団体他	1	30
		⑪ 交通技術と社会のあり方 (自動運転と紛争解決)	自動車関係団体他	0	0
	交通安全	⑫ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	183 (39)	53,476
		⑬ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	25 (6)	6,950
		⑭ 交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会	9 (3)	1,554
⑮ 自転車を取り巻くリスクと問われる責任		日本損害保険協会	34 (8)	16,350	
⑯ 二輪車(バイク)の交通安全 ～高校生のための Safety Riding～	日本二輪車普及安全協会	3	60		
交通社会教育 計				262 (56)	78,615
全体 合計				286	79,661

3) P I U S (分解組立式小型電気自動車) 特別講習

令和3年度に引き続き、重点取組事項のひとつ「体験型授業の充実」の施策として、分解型小型電気自動車P I U S (ピウス) を用いた特別講習を開催した。本講習は財団職員が講師を担当し、教材であるP I U Sと共に応募があった全国の工業高校を対象に訪問。

本年度は7月から開始し、12月までの間に計画した10回の開催を完了した。前年度に人数の多い学校から「もっとP I U Sに触れたかった」との反響があり、今年度は2班に分けて行う「2日間コース」を設定して好評を得た。

また、電気自動車の分解・組立から試乗の実習に加え、5 Sや電気自動車についての座学をパッケージとした新たな講習に対し、これまで多くの受講者から好評を得ている。

<開催校担当教諭の主な評価・感想>

- ▶5 Sを含め、チームによる作業での大切な意識や取り組み方について理解を深めることができた。工具の取り扱いについても実践的なものを学ぶことができた。
- ▶分解・組立の作業では実車と同じ構造のキットカーを使用して、各部品の仕組みや役割を学ぶことができた。
- ▶座学で電気自動車の置かれている状況を理解し、今後の自動車とどう向き合うべきか考えることができた。
- ▶初めて自分達が手掛けた車両を運転操作する経験ができて、生徒は感動していた。

<特別講習カリキュラム 例>

9:00～	9:10	開講式、連絡事項
9:10～	10:00	座学①「5 S」、「工具の使い方」等
10:00～	12:00	分解実習(適宜休憩)
12:00～	13:00	昼休憩
13:00～	13:30	座学②「電気自動車について」
13:30～	15:30	組立実習(適宜休憩)
15:30～	15:50	試乗
15:50～	16:10	振り返り、閉会式

【令和4年度P I U S特別講習開催実績】

No.	地区	主催	開催日	受講者	人数
1	東京	都立練馬工業高等学校	7月12日 13日	キャリア技術科 3年生	26
2	宮崎	鵬翔高等学校	7月26日	自動車コース・電気機械コース 1、2年生	14
3	愛知	名古屋工業高等学校	8月10日	機械科 1～3年生	14
4	愛知	名電高等学校	8月17日	専門学科 2、3年生	12
5	新潟	県立新潟県央工業高等学校	8月23日	機械加工科 3年生	7
6	宮崎	都城東高等学校	10月6日 7日	モビリティ工学科 2年生	31
7	宮崎	都城東高等学校	10月13日 14日	モビリティ工学科 3年生	19
8	岐阜	県立岐阜工業高等学校	11月3日	航空機械工学科 3年生	10
9	静岡	飛龍高等学校	11月8日 9日	自動車工業科 1年生	20
10	静岡	県立科学技術高等学校	12月27日	機械工学研究部 1、2年生	8
受講者計					161

4. 普及啓発事業

1) 普及啓発活動

(1) 動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』でのコンテンツ掲載、同サイトの告知活動

①新規コンテンツの公開

クルマに関する基礎知識や国内外の最新交通事情などをテーマとする動画を財団ウェブサイトにて公開。当年度は財団で実施した国内・海外調査結果の他、“18歳成人”に必要な自動車・自転車に纏わる各種知識（権利・義務、賠償等）、環境・エネルギー問題、自動運転技術や電動化などのテーマで計20本のコンテンツを制作し、公開した。

【令和4年度『早わかり！クルマ塾』コンテンツ掲載実績】

		タイトル	公開日
まなびのクルマ舎	<1>	『消費者としての高校生と交通社会〔1〕“18歳成人”と交通社会～権利と責任のあり方～』	R4. 6. 29
	<2>	『消費者としての高校生と交通社会〔2〕日本の税金とクルマ』	R4. 8. 30
	<3>	『消費者としての高校生と交通社会〔3〕クルマも”サブスク”の時代へ』	R5. 1. 17
「クルマ何でも情報館」	<4>	『日本におけるMaaS実現への課題とは？【前編】MaaSとは：海外での先行事例』	R4. 5. 27
	<5>	『日本におけるMaaS実現への課題とは？【後編】日本における取り組み状況と課題』	R4. 6. 7
	<6>	『脱炭素社会は、“電力の自給自足”から～さいたま市浦和美園地区にみる太陽光エネルギーの活用～』	R4. 9. 27
	<7>	『人を見守る高度な運転支援技術 聴く編 第1回』	R5. 1. 24
	<8>	『人を見守る高度な運転支援技術 聴く編 第2回』	R5. 1. 24
	<9>	『人を見守る高度な運転支援技術 乗る編 第1回』	R5. 1. 31
	<10>	『人を見守る高度な運転支援技術 乗る編 第2回』	R5. 1. 31
	<11>	『自転車の交通違反 取り締まり強化へ』	R5. 2. 2
	<12>	『カーボンニュートラル社会において石炭火力発電は不要か？』	R5. 2. 28
	<13>	『電気自動車から見る電動化社会 聴く編 第1回』	R5. 3. 7
	<14>	『電気自動車から見る電動化社会 聴く編 第2回』	R5. 3. 7
	<15>	『電気自動車から見る電動化社会 乗る編 第1回』	R5. 3. 14
	<16>	『電気自動車から見る電動化社会 乗る編 第2回』	R5. 3. 14
	<17>	『シンガポール現地調査報告 I. シンガポールの概要と交通課題』	R5. 3. 20
	<18>	『シンガポール現地調査報告 II. シンガポールの交通渋滞対策』	R5. 3. 20
	<19>	『シンガポール現地調査報告 III. 自動化・電動化への取り組み』	R5. 3. 24
	<20>	『シンガポール現地調査報告 IV. 新たな販売形態”自動車の自動販売機”』	R5. 3. 24

②ダイジェスト版制作、YouTube への投稿

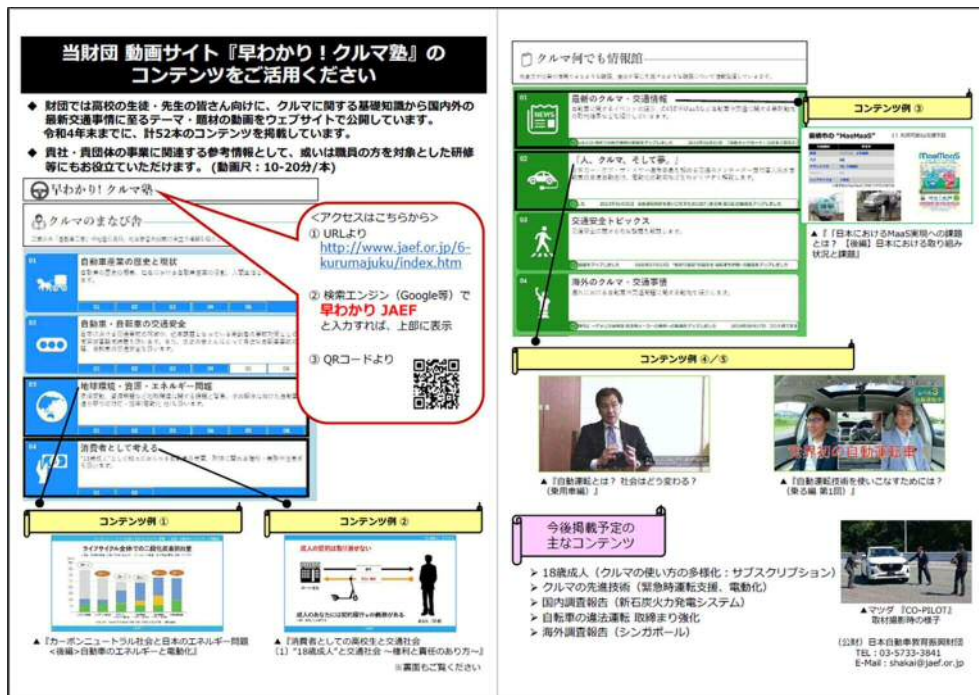
各コンテンツの認知向上・視聴促進策を図るべく、令和 4 年度制作分よりダイジェスト版を制作し、YouTube への投稿を開始した。



▲ ダイジェスト版の YouTube 投稿

③関係企業・団体向け告知活動

当財団を支援いただいている企業・団体向けにリーフレットを作成し、四半期活動報告誌「JAEF RERORT(1月号)」と共に送付した。



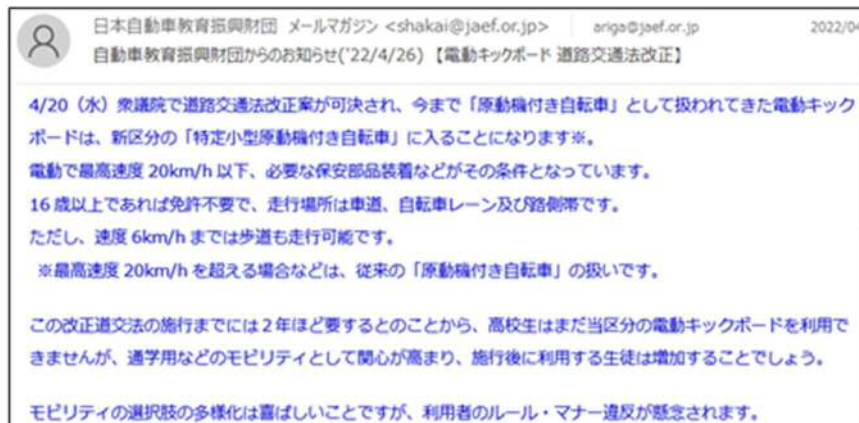
▲ 関係企業・団体に送付した告知用リーフレット

④一般社団法人「学びのイノベーション・プラットフォーム (PLIJ)」との連携
 同法人が令和 5 年 4 月運営開始を予定している教材・研修等の情報を紹介するポータルサイトから、『早わかり！クルマ塾』の各コンテンツにリンクできるよう準備を行った。

(2) メールマガジンによる情報提供

高校教諭等への情報提供活動として、メールマガジンを配信。当財団の活動状況、クルマや交通安全に関するトピックス等をテーマに、当年度は合計 50 回発信した。

また、当財団活動に対する認知・理解度を更に高めるべく、本年度よりメールマガジン登録者数の拡大に取り組んだ。「講師派遣」「技術教材提供」などへの申込時に、メールマガジンへの登録を促したことにより、3 月末までの累計登録者数が 782 と、この 1 年で約 2 倍になった。



▲メールマガジン画面

(3) 先生方に近接した機会での告知・活用促進

従来の財団イベント (JAEF 研修会、教材贈呈式) での情報提供に加え、令和 4 年度全国公民科・社会科教育研究会 全国大会の会場ステージにて当財団支援の活用を訴求した他、(公社) 全国工業高等学校長協会 機関誌『工業教育』では計 4 頁にわたり財団活動の紹介記事を掲載いただいた。



▲全国工業高等学校長協会 機関誌『工業教育』1月号掲載記事

2) 広域普及啓発活動

(1) SNS による情報発信

当財団イベントの情報等を関連画像と共に随時投稿した。当年度の投稿回数は、フェイスブック 44 回、ツイッター42 回。



▲SNS 投稿画面 (左：フェイスブック、右：ツイッター)

(2) 各種情報のアクセシビリティ向上の取り組み (JAIEF 支援メニュー、ホームページ)

①JAIEF 支援メニューのデザイン変更

先生方の担当(「工業系」「生活指導」「地歴・公民/探究」)に即した各支援メニューの視認性向上を図った。



▲新デザインの JAIEF 支援メニュー

②ホームページの全面改訂に向けた準備

先生の担当毎にメニュー表示枠を設定するなど、トップページでの情報検索・閲覧のし易さを高めたデザインへの変更に着手した（令和5年10月、新ホームページに切り替え）。



▲新ホームページ トップ画面

(3) 「ニュースリリース」の発行

報道機関向けのニュースリリース『JAIEF NEWS』を発行した（年間24回）。

番号	発行日	タイトルと内容
No. 765	R4. 6. 14	令和4年度定時評議員会を開催
No. 766	R4. 7. 7	「令和4年度 第1回 JAIEF研修会」を開催
No. 767	R4. 7. 11	「令和4年度 第2回 JAIEF研修会」を開催
No. 768	R4. 7. 19	「令和4年度 第3回 JAIEF研修会」を開催
No. 769	R4. 8. 2	令和4年度 自動車技術教育用教材の提供校を決定
No. 770	R4. 9. 22	沖縄県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 771	R4. 9. 27	徳島県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 772	R4. 9. 29	香川県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 773	R4. 10. 7	山梨県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 774	R4. 10. 14	群馬県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 775	R4. 10. 18	宮崎県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 776	R4. 10. 21	山形県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 777	R4. 10. 25	長野県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 778	R4. 10. 25	福岡県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 779	R4. 10. 28	鹿児島県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 780	R4. 10. 28	秋田県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 781	R4. 11. 1	高知県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 782	R4. 11. 1	佐賀県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 783	R4. 11. 1	長崎県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 784	R4. 11. 18	熊本県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 785	R4. 11. 25	大分県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 786	R4. 11. 30	新潟県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 787	R4. 11. 30	愛媛県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 788	R5. 3. 16	第28回理事会を開催

(4) 『JAEF REPORT』の発行

関係者向けの財団事業報告紙として『JAEF REPORT』(A4判・4頁・カラー)を定期的(4・7・10・1月の年4回)に発行した。直近の財団活動実績や今後の行事予定などを、財団関係者へ分かりやすく伝える情報媒体として定着している。

また、『JAEF REPORT』をホームページでも公開し、財団活動の幅広い理解促進を図った。

番号	発行日	タイトル・内容
No.253	R4. 4. 5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第26回理事会を開催、令和4年度事業計画・予算を承認 ◆ 令和3年度講師派遣実績 ◆ 令和4年度「自動車技術」に関する講師派遣募集開始 ◆ 自動車教育用教材汎用エンジン解説動画を制作・公開 ◆ “「公共」副教材2022”が完成、ウェブで公開 ◆ 動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」に13本のコンテンツ掲載
No.254	R4. 7. 5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第27回理事会、第11回評議員会を実施 ◆ 令和4年度自動車技術教育用教材提供へ81校から応募 ◆ 39都道府県の研修会(179件)に講師を派遣 ◆ 令和4年度JAEF研修会の参加者を募集 ◆ 動画学習サイト「早わかりクルマ塾」に3本のコンテンツ掲載
No.255	R4.10. 5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 令和4年度自動車教育用教材の提供対象校・内容を決定 ◆ 分解組立式小型EV“PIUS”を用いた特別講習を実施 ◆ 令和4年度JAEF研修会を開催 ◆ 22都道府県(43件)の研修会に講師を派遣 ◆ 動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」に2本のコンテンツ掲載
No.256	R5. 1. 5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 新年のご挨拶 ◆ 18県で教材贈呈式、交流促進活動を実施 ◆ 分解組立式小型EV“PIUS”を用いた特別講習を実施 ◆ 各部会・委員会にて令和4年度上期活動状況を報告 ◆ 27道府県(54件)の研修会に講師を派遣 ◆ 令和5年度講師派遣募集開始



【IV】 支援活動

1. 自動車技術教育関連イベントへの支援

7件の依頼があったが、天候不順などにより2件のイベントが中止となり、5件の支援となった。

区分	イベント名称	開催日	開催地	主催者	協賛支援内容	
					財団	協議会
全国イベント	第29回全国ソーラーラジコンカーコンテスト in 白山	R4.08.06 (中止)	石川	全国ソーラーラジコンカーコンテスト実行委員会	協賛金	協賛金
	第22回高校生ものづくりコンテスト全国大会	R4.11.13	富山	全国工業高等学校長協会	表彰状・盾	-
	ジャパンマイコンカーラリー2023 全国大会	R5.01.08	大阪	全国工業高等学校長協会	協賛金	-
県別イベント	令和4年度三重県工業高校生フェア	R4.08.20	三重	三重県高等学校工業教育研究会	協賛金	協賛金
	第30回静岡県高校生エコラン大会	R4.09.25 (中止)	静岡	静岡県工業高等学校長会	協賛金	協賛金
	第24回沖縄県高等学校エコデンレース大会	R4.11.01	沖縄	沖縄工業教育研究会	協賛金	協賛金
	2022 長野県高校生交通安全CMコンテスト	R4.11.30	長野	長野県交通事故ゼロチャレンジ実行委員会	協賛金	協賛金

〔V〕 組織運営

1. 監事・評議員の異動

所属団体での異動による一部評議員の退任に伴い、第 11 回定時評議員会（令和 4 年 6 月 13 日）において、評議員の一部選任が行われた。その結果、評議員においては、退任する 4 名の評議員の後任として、新たに 4 名の評議員が一部選任された。

なお、第 11 回定時評議員会終了後に、所属団体での異動による一部監事の退任が発生したため、決議の省略による書面での理事会（令和 4 年 9 月）並びに評議員会（同年 10 月）を開催し、退任する 1 名の監事の後任として、新たに 1 名の監事が一部選任された。

さらに、所属団体での異動による一部評議員の退任が発生したため、第 28 回理事会（令和 5 年 3 月 15 日）と決議の省略による書面での評議員会（同年 3 月）を開催し、退任する 2 名の評議員の後任として、新たに 2 名の評議員が一部選任された。

2. 委員会・部会の効率的な運営

委員会・部会の運営にあたっては、その機能を十分に発揮できるよう心がけた。

会議の開催状況は、企画委員会 4 回、審査委員会 1 回、事業委員会 2 回、技術教育部会 4 回、調査普及部会 2 回、研修部会 2 回となっている。

3. 経理・財務の状況

主な収入は関係団体からのご支援による賛助会費及び寄附金と、国債並びに仕組預金等の運用による基本財産運用益である。令和 4 年度は、賛助会費の一部減額が前年度から継続するも、基本財産運用益の増加により当初計画に対し約 172 万円の増収となった。支出面においては、自動車技術教育への支援強化・学習形態の多様化等に対応する新規取り組みの実施により、当初計画を約 57 万円上回った。

令和 2 年度に生じた公益目的事業会計剰余金（1,093 万円）の令和 3 年度末残額 620 万円は令和 4 年度をもって解消した。

〔VI〕 庶務事項

1. 事務局体制

- ・令和5年3月31日現在の業務分担は以下のとおりである。

役 職	氏 名	担当業務	担当会議
専務理事	上橋 義弘	事業統括、事務局統括 (調査研究事業)	理事会・評議員会 企画委員会、事業委員会
常務理事	有賀 潔	調査研究事業、普及啓発事業、 経理・財務、システム	調査普及部会 (理事会・評議員会)
部 長	鈴木 健太	技術教育支援事業	審査委員会、技術教育部会
部 長	市野 真也	研修事業 総務	研修部会 (理事会・評議員会)
技術顧問	清水 譲二	技術教育支援事業特命業務	
職 員	下野 尚美	(経理、総務、研修)	(研修部会)
職 員	山内しのぶ	(技術教育、研修、総務) (調査、普及啓発)	(理事会・評議員会) (企画委員会、事業委員会) (審査委員会、技術教育部会) (調査普及部会)

※ () 内は副担当としてのアシスト業務を示す

2. 賛助会費・寄附金の状況

- ・令和4年度の賛助会費・寄附金は以下の通りである。

< 賛助団体名 >	< 金 額 >
・(一社) 日本自動車工業会	31,000 千円
・(一社) 日本損害保険協会	2,400 千円
・(一社) 日本自動車販売協会連合会	4,800 千円
・(一社) 日本自動車連盟	1,200 千円
・(一社) 日本自動車会議所	600 千円
・(一社) 全国軽自動車協会連合会	1,200 千円
・(一社) 日本中古自動車販売協会連合会	600 千円
・(一社) 日本自動車整備振興会連合会	600 千円
・(一財) 自動車検査登録情報協会	600 千円
合 計	43,000 千円

< 寄附団体名 >	< 金 額 >
・(一社) 日本自動車機械工具協会	6,000 千円
合 計	6,000 千円

以 上

【資料1-1】令和4年度 講師派遣実績(自動車技術教育)

NO.	都道府県	主催者	開催日	受講テーマ	講師会社	担当(敬称略)	受講人数
1	神奈川県	神奈川県立向の岡工業高等学校	5月2日	①トヨタ・ハイブリッド車について	神奈川トヨタ株式会社 (トヨタモビリティ神奈川)	宮谷真樹	99
2	宮城	宮城県加美農業高等学校	6月9日	②日産・電気自動車について	株式会社日産サテリオ宮城	安部典昭	29
3	奈良	奈良県立奈良朱雀 ・奈良商工高等学校	6月13日	②日産・電気自動車について	(株)日産サテリオ奈良	川谷利育	55
4	兵庫	兵庫県立洲本実業高等学校	6月24日	⑤三菱自動車・プラグインハイブリッド車について	兵庫三菱自動車販売株式会社	岸原一民	34
5	北海道	北海道富良野緑峰高等学校	7月1日	①トヨタ・ハイブリッド車について	旭川トヨベト株式会社	中島拓也	56
6	福岡	福岡県立八女工業高等学校	8月3日	④マツダ・先進電動化技術について	株式会社九州マツダ	光延誠也	40
7	沖縄	沖縄県工業教育研究会自動車部会	8月9日	⑧電子制御エンジンの構造と点検・整備	一般社団法人 沖縄県自動車整備振興会	大城亮一郎	14
8	愛知	愛知県立一宮起工科高等学校	10月3日	①トヨタ・ハイブリッド車について	トヨタカラー愛豊(株)	山口勲	43
9	福島	福島県立二本松工業高等学校	10月4日	⑥ガソリンエンジンの分解・組立	一般社団法人 福島県自動車整備振興会	佐藤行広	2
10	新潟	新潟県立新潟県立工業高等学校	10月18日	②日産・電気自動車について	日産プリンス新潟販売 株式会社	河内克幸	94
11	埼玉	埼玉県立春日部工業高等学校	10月20日	①トヨタ・ハイブリッド車について	ネットトヨタ埼玉	佐久間崇史	67
12	広島	広島市立広島工業高等学校	10月21日	②日産・電気自動車について	広島日産自動車株式会社	高橋寿治	36
13	富山	富山県立高岡工業高等学校	10月21日	⑤三菱自動車・プラグインハイブリッド車について	富山ダイヤモンドモーターズ株式会社 高岡三菱自動車販売 戸出店	長谷川泰浩 西克昌	31
14	静岡	学校法人沼津学園 飛龍高等学校	11月8日	⑤三菱自動車・プラグインハイブリッド車について	三菱自動車工業(株)	渡辺朋栄	10
15	静岡	学校法人沼津学園 飛龍高等学校	11月9日	⑤三菱自動車・プラグインハイブリッド車について	三菱自動車工業(株)	渡辺朋栄	10
16	長崎	長崎県立佐世保工業高等学校	11月18日	③ホンダ・e:HEV車について	(株)ホンダ四輪販売九州北	松本大介	45
17	愛知	愛知県立一宮起工科高等学校	11月21日	⑤三菱自動車・プラグインハイブリッド車について	三菱自動車工業(株)	渡辺朋栄	42
18	長崎	長崎県立佐世保工業高等学校	11月25日	②日産・電気自動車について	長崎日産自動車株式会社	草野孝宏	45
19	群馬	群馬県立桐生工業高等学校	11月30日	④マツダ・先進電動化技術について	マツダ株式会社	新博晶	80
20	宮城	宮城県加美農業高等学校	12月5日	⑤三菱自動車・プラグインハイブリッド車について	宮城三菱自動車販売株式会社	石川栄好	20
21	長崎	長崎県立佐世保工業高等学校	12月8日	①トヨタ・ハイブリッド車について	長崎トヨタ自動車株式会社	丸尾俊一	40
22	東京	東京都立六郷工科高等学校	1月19日	③ホンダ・e:HEV車について	株式会社ホンダカーズ東京中央	上野 浩一	24

【資料1-2】令和4年度 講師派遣実績(交通社会教育)

No.	都道府県	主催	開催日	テーマ		講師派遣団体・会社/支部	担当 (敬称略)	受講人数
				★：環境・交通技術	◇：交通安全			
1	富山	富山高等専門学校 本郷キャンパス	4/4	◇交通事故を起こして問われる責任		(一社) 日本損害保険協会 北陸	大平 敏	228
2	長野	長野県松本工業高等学校	4/6	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 長野	吉川 瑠美	192
3	神奈川	県立茅ヶ崎西浜高等学校	4/8	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 神奈川	高木 孝	359
4	鹿児島	鹿児島修学館中学高等学校	4/8	◇夜間の交通安全対策		(一社) 日本自動車連盟 鹿児島	原山 大器	394
5	北海道	北星学園大学附属高等学校	4/11	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 札幌	日下部 英明	242
6	大阪	関西大学北陽高等学校	4/11	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任		(一社) 日本損害保険協会 近畿	橋本 昇	415
7	大阪	府立渋谷高等学校	4/11	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 大阪	町田 英之	242
8	福岡	県立ありあけ新世高等学校	4/11	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 福岡	田中 至道	454
9	北海道	北海道剣淵高等学校	4/12	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 旭川	後藤 博行	77
10	宮城	宮城県多賀城高等学校	4/12	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 宮城	富澤 亮人	295
11	福島	県立橋本高等学校	4/12	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 福島	渡辺 周二	280
12	千葉	県立糟粕川高等学校	4/12	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 千葉	谷 宗一郎	250
13	東京	都立武蔵丘高等学校	4/12	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任		(一社) 日本損害保険協会 関東	道家 謙太郎	319
14	大阪	府立茨木工科高等学校 定時制	4/12	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任		(一社) 日本損害保険協会 近畿	隅田 清	50
15	大阪	宣真高等学校	4/12	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 大阪	町田 英之	1,100
16	和歌山	初芝橋本中学校高等学校	4/12	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 和歌山	小山 真	190
17	福岡	県立明善高等学校	4/12	◇夜間の交通安全対策		(一社) 日本自動車連盟 福岡	田中 至道	833
18	青森	県立木造高等学校深浦校舎	4/13	◇夜間の交通安全対策		(一社) 日本自動車連盟 青森	渋谷 輝明	13
19	秋田	県立秋田西高等学校	4/13	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 秋田	横岡 彰	363
20	群馬	県立松井田高等学校	4/13	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 群馬	金子 公一	203
21	東京	都立足立新田高等学校	4/13	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 東京	由水 雅也	251
22	新潟	県立豊栄高等学校	4/13	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 新潟	縄 一義	157
23	青森	県立野辺地高等学校	4/14	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 青森	渋谷 輝明	119
24	岩手	県立花巻北高等学校	4/14	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 岩手	日戸 一樹	234
25	福島	県立福島明成高等学校	4/14	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 福島	渡辺 周二	195
26	茨城	県立石下紫峰高等学校	4/14	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 茨城	鈴木 孝児	310
27	埼玉	県立川越工業高等学校	4/14	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任		(一社) 日本損害保険協会 関東	小澤 純	280
28	長野	長野県小諸高等学校	4/14	◇夜間の交通安全対策		(一社) 日本自動車連盟 長野	吉川 瑠美	470
29	兵庫	西宮市立西宮東高等学校	4/14	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 兵庫	頭井 与志範	293
30	鹿児島	県立鹿児島高等特別支援学校	4/14	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 鹿児島	原山 大器	89
31	青森	県立六戸高等学校	4/15	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 青森	渋谷 輝明	44
32	秋田	県立大曲農業高等学校太田分校	4/15	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 秋田	横岡 彰	46
33	東京	都立練馬工業高等学校	4/15	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 東京	由水 雅也	165
34	福井	県立美方高等学校	4/15	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 福井	伊藤 鉄平	146
35	兵庫	県立阪神昆陽高等学校 1・2部(単位制)	4/15	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 兵庫	頭井 与志範	120
36	兵庫	県立阪神昆陽高等学校 3部(単位制)	4/15	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 兵庫	頭井 与志範	60
37	栃木	県立真岡高等学校	4/18	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 栃木	田村 鋭夫	430
38	福岡	県立戸畑高等学校	4/18	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 福岡	佐藤 勇夫	701
39	宮崎	県立高城高等学校	4/18	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 宮崎	田代 芳久	300
40	北海道	北海道弟子屈高等学校	4/19	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 釧路	熊坂 利治	72
41	青森	県立三戸高等学校	4/19	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 青森	渋谷 輝明	106
42	岩手	県立久慈工業高等学校	4/19	◇夜間の交通安全対策		(一社) 日本自動車連盟 岩手	日戸 一樹	80
43	福島	県立須賀川支援学校	4/19	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 福島	渡辺 周二	68
44	岐阜	県立各務原高等学校	4/19	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任		(一社) 日本損害保険協会 中部	横井 信之	496
45	静岡	県立池新田高等学校掛川特別支援学校	4/19	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 静岡	原 康之	367
46	大阪	箕面学園高等学校	4/19	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任		(一社) 日本損害保険協会 近畿	前原 利生	600
47	福岡	県立福岡農業高等学校	4/19	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 福岡	庄島 恭博	523
48	岩手	県立盛岡峰南高等支援学校	4/20	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		(一社) 日本自動車連盟 岩手	日戸 一樹	130

【資料1-2】令和4年度 講師派遣実績(交通社会教育)

No.	都道府県	主 催	開催日	テーマ		講師派遣団体・会社/支部		担当 (敬称略)	受講人数
				★：環境・交通技術	◇：交通安全				
49	秋田	県立大曲支援学校	4/20	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田	横岡 彰	65
50	福島	県立石川高等学校	4/20	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	福島	渡辺 周二	53
51	群馬	県立伊勢崎清明高等学校	4/20	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	群馬	金子 公一	715
52	福島	県立郡山高等学校	4/21	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	福島	田代 秀之	473
53	長野	東海大学付属諏訪高等学校	4/21	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	関東	小澤 純	927
54	岐阜	県立岐山高等学校	4/21	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	岐阜	大嶽 悟	1,010
55	徳島	県立吉野川高等学校	4/21	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	徳島	角田 義道	111
56	北海道	北海道枝幸高等学校	4/22	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	旭川	後藤 博行	46
57	北海道	北海道伊達緑丘高等学校	4/22	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	北海道	古川 浩	101
58	群馬	県立高崎女子高等学校	4/22	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	群馬	金子 公一	876
59	東京	都立多摩工業高等学校	4/22	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	東京	内藤 康介	175
60	山梨	県立甲府昭和高等学校	4/22	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	山梨	三枝 成己	240
61	岐阜	県立岐阜北高等学校	4/22	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	岐阜	大嶽 悟	1,150
62	鳥取	県立鳥取湖陵高等学校	4/22	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	鳥取	為廣 光章	466
63	北海道	北海道千歳高等学校	4/25	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	札幌	小泉 雅之	320
64	北海道	北海道釧路明輝高等学校	4/25	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	釧路	松谷 伸人	185
65	岩手	盛岡市立高等学校	4/25	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	岩手	日戸 一樹	242
66	秋田	県立栗田支援学校	4/25	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田	横岡 彰	29
67	愛知	県立岩津高等学校	4/25	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	愛知	山崎 剛司	557
68	北海道	北海道遠別農業高等学校	4/26	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	旭川	後藤 博行	52
69	秋田	聖霊女子短期大学付属高等学校	4/26	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田	横岡 彰・相場 秀一	160
70	秋田	県立栗田支援学校	4/26	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田	横岡 彰	24
71	茨城	県立波崎柳川高等学校	4/26	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	関東	竹島 亜機雄	230
72	北海道	北海道名寄高等学校	4/27	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	北海道	富田 則雄	278
73	岩手	県立黒沢尻工業高等学校	4/27	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	岩手	日戸 一樹	492
74	宮城	県立支援学校 小牛田高等学園	4/27	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	宮城	宮腰 直人	109
75	秋田	聖霊女子短期大学付属高等学校	4/27	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田	横岡 彰・相場 秀一	279
76	秋田	県立秋田明徳館高等学校 定時制	4/27	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田	横岡 彰	348
77	茨城	霞ヶ浦高等学校	4/27	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	茨城	鈴木 孝児	1,150
78	三重	県立神戸高等学校	4/27	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	三重	萱野 雄彦	910
79	徳島	鳴門教育大学附属特別支援学校	4/27	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	徳島	角田 義道	24
80	北海道	北海道上富良野高等学校	4/28	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	旭川	後藤 博行	78
81	北海道	北海道札幌豊豊高等学校	4/28	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	札幌	日下部 英明	360
82	青森	県立青森北高等学校	4/28	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	青森	三上 順平・渋谷 輝明	600
83	新潟	県立正徳館高等学校	4/28	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	新潟	縄 一義	77
84	岐阜	岐阜市立岐阜特別支援学校	4/28	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	岐阜	浅地 茂樹	110
85	山梨	県立笛吹高等学校	4/29	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	山梨	三枝 成己	760
86	山形	県立米沢商業高等学校	5/2	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	東北	鈴木 功一	290
87	栃木	県立鹿沼東高等学校	5/2	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	関東	小澤 純	588
88	愛知	県立豊橋商業高等学校	5/2	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	愛知	山崎 剛司	240
89	福岡	県立三潁高等学校	5/2	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	福岡	田中 至道	304
90	滋賀	滋賀学園高等学校	5/6	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	滋賀	上原 伸公	180
91	大阪	府立貝塚高等学校	5/9	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	大阪	宮崎 祥文	244
92	秋田	県立ゆり支援学校	5/10	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田	相場 秀一	45
93	沖縄	県立西崎特別支援学校	5/10	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	沖縄	新里 稔	70
94	岩手	県立宮古商工高等学校	5/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	岩手	日戸 一樹	435
95	秋田	県立雄物川高等学校	5/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田	相場 秀一	137
96	福島	県立福島商業高等学校	5/11	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	東北	佐久間 進	250

【資料1-2】令和4年度 講師派遣実績(交通社会教育)

No.	都道府県	主催	開催日	テーマ		講師派遣団体・会社/支部		担当 (敬称略)	受講人数
				★：環境・交通技術	◇：交通安全				
97	埼玉	武南高等学校	5/11	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	関東	小澤 純	587
98	福岡	県立浮羽工業高等学校	5/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	福岡	佐藤 勇夫	306
99	岩手	県立盛岡ひがし支援学校	5/12	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	岩手	日戸 一樹	43
100	福島	桜の聖母学院高等学校	5/12	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	福島	渡辺 周二	115
101	千葉	県立柏の葉高等学校	5/12	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	千葉	花島 寛康	900
102	長野	長野県飯田高等学校	5/12	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	長野	吉川 瑠美	722
103	愛知	県立西尾東高等学校	5/12	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	中部	高橋 勝巳	320
104	愛知	県立安城農林高等学校	5/12	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	愛知	江崎 俊哉	255
105	大阪	府立富田林高等学校	5/12	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	大阪	中橋 啓伸	240
106	大阪	府立藤井寺高等学校	5/12	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	近畿	木村 耕造	240
107	北海道	北海道札幌西高等学校 定時制	5/13	◇	交通事故を起こして問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	北海道	富田 則雄	37
108	宮城	柴田農林高等学校川崎校 岩沼学園川崎キャンパス	5/13	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	宮城	宮腰 直人	86
109	秋田	県立増田高等学校	5/13	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田	相場 秀一	326
110	秋田	県立本荘高等学校	5/13	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田	横岡 彰	567
111	福島	県立福島南高等学校	5/13	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	東北	佐久間 進	468
112	岡山	玉野市立玉野備南高等学校	5/13	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	岡山	建部 拓	41
113	北海道	北海道留辺蘂高等学校	5/17	◇	夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟	北見	高橋 純	45
114	岩手	県立水沢商業高校	5/18	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	岩手	藤田 学	320
115	岩手	県立水沢工業高等学校	5/18	◇	夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟	岩手	日戸 一樹	376
116	秋田	県立本荘高等学校 定時制	5/18	◇	夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟	秋田	相場 秀一	19
117	山形	県立酒田西高等学校 定時制	5/18	◇	交通事故を起こして問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	東北	平島 正	72
118	岐阜	県立多治見西高等学校	5/18	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	岐阜	浅地 茂樹	811
119	兵庫	県立神崎工業高等学校	5/18	◇	夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟	兵庫	頭井 与志範	29
120	秋田	県立秋田北高等学校	5/19	◇	夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟	秋田	相場 秀一	688
121	山形	県立山形養護学校	5/19	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	山形	柏倉 保・野川 智信	10
122	福島	県立いわき総合高等学校	5/19	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	福島	渡辺 周二	199
123	愛知	県立知立高等学校	5/20	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	愛知	江崎 俊哉	713
124	兵庫	県立西脇高等学校	5/20	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	兵庫	高木 鑑一	500
125	兵庫	神戸野田高等学校	5/23	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	近畿	村井 康人	40
126	宮城	宮城県仙台西高等学校	5/24	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	東北	岩城 仁	714
127	北海道	北海道室蘭栄高等学校 定時制	5/25	◇	夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟	札幌	小泉 雅之	36
128	秋田	県立矢島高等学校	5/25	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田	相場 秀一	53
129	長崎	県立島原高等学校	5/25	◇	夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟	長崎	松本 義昭	590
130	熊本	県立八代東高等学校	5/25	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	熊本	緒方 将	248
131	福島	桜の聖母学院高等学校	5/26	◇	夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟	福島	渡辺 周二	86
132	愛知	県立一色高等学校 定時制	5/26	◇	夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟	愛知	近藤 雅樹	106
133	兵庫	県立三田祥雲館高等学校	5/26	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	兵庫	頭井 与志範	680
134	福島	県立会津第二高等学校	5/27	◇	夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟	福島	渡辺 周二	31
135	佐賀	佐賀大学教育学部附属特別支援学校	5/27	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	佐賀	下岡 忠司	26
136	岐阜	県立可児工業高等学校	5/30	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	岐阜	大嶽 悟	581
137	愛知	誠信高等学校	5/30	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	愛知	江崎 俊哉	307
138	秋田	県立大館国際情報学院中学校・高等学校	5/31	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田	横岡 彰	505
139	福島	桜の聖母学院中学校	5/31	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	福島	渡辺 周二	61
140	富山	県立小矢部園芸高等学校	5/31	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	富山	林 宏二	60
141	秋田	秋田市立御所野学院高等学校	6/1	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田	相場 秀一	200
142	秋田	県立大曲高等学校	6/1	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田	横岡 彰	574
143	福島	県立福島西高等学校	6/1	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	福島	田代 秀之	210
144	福岡	県立玄洋高等学校	6/1	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	九州	亀澤 恭平	650

【資料1-2】令和4年度 講師派遣実績(交通社会教育)

No.	都道府県	主 催	開催日	テーマ		講師派遣団体・会社/支部	担当 (敬称略)	受講人数
				★：環境・交通技術	◇：交通安全			
145	大阪	府立農芸高等学校	6/2	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	大阪 宮崎 祥文	200
146	熊本	県立八代清流高等学校	6/2	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	熊本 緒方 将	409
147	北海道	北海道月形高等学校	6/3	◇	夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟	札幌 小泉 雅之	50
148	宮城	宮城県石巻高等学校	6/3	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	宮城 宮腰 直人	605
149	鹿児島	県立山川高等学校	6/3	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	九州 町田 正志	117
150	宮城	石巻市立桜坂高等学校	6/6	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	東北 石坂 さゆり	380
151	石川	小松市立高等学校	6/7	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	石川 坪内 秀輔	294
152	福岡	県立筑後特別支援学校	6/8	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	福岡 佐藤 勇夫	131
153	北海道	北海道苫小牧工業高等学校 定時制	6/9	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	札幌 小泉 雅之	70
154	愛知	県立犬山南高等学校	6/9	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	愛知 江崎 俊哉	380
155	青森	県立五所川原農林高等学校	6/10	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	青森 渋谷 輝明	343
156	石川	県立金沢錦丘高等学校	6/10	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	石川 坪内 秀輔	320
157	静岡	県立掛川東高等学校	6/13	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	中部 古川 日出入	618
158	静岡	県立島田高等学校	6/13	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	静岡 原 康之・大村 渉	184
159	北海道	北海道札幌丘珠高等学校	6/14	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	北海道 古川 浩	858
160	秋田	県立六郷高等学校	6/14	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田 相場 秀一	174
161	島根	松江市立皆美が丘女子高等学校	6/14	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	島根 伊藤 昇	323
162	北海道	北海道虻田高等学校	6/15	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	札幌 日下部 英明	50
163	静岡	県立榛原高等学校	6/16	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	中部 鈴木 勝彦	200
164	大阪	府立高津高等学校	6/16	◇	交通事故を起こして問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	近畿 北条 昌明	363
165	福島	県立須賀川創英館高等学校	6/17	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	福島 渡辺 周二	600
166	富山	県立富山北部高等学校	6/17	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	富山 林 宏二	210
167	山形	県立新庄高等学校最上校	6/20	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	東北 平島 正	38
168	東京	都立晴海総合高等学校	6/22	★	地球温暖化と自動車技術(次世代自動車とインフラ)	(一社) 次世代自動車振興センター	- 狹野 法一	11
169	福井	県立坂井高等学校	6/23	◇	夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟	福井 義野 敏久	770
170	静岡	県立島田高等学校	6/27	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	静岡 原 康之・大村 渉	361
171	岩手	盛岡大学附属高等学校	6/28	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	東北 川崎 幸一	522
172	山形	県立新庄神室産業高等学校	6/28	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	山形 野川 智伸	92
173	大阪	府立春日丘高等学校	6/29	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	大阪 町田 英之	328
174	福岡	大牟田高等学校	6/29	◇	夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟	福岡 佐藤 勇夫	877
175	宮城	県立小松島支援学校	6/30	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	宮城 宮腰 直人	33
176	岐阜	県立大垣商業高等学校 定時制	7/5	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	中部 横井 信之	54
177	秋田	県立西目高等学校	7/6	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田 横岡 彰	126
178	新潟	県立村上桜ヶ丘高校	7/6	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	新潟 菅宮 弓里江	468
179	沖縄	県立沖縄水産高等学校	7/6	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	沖縄 新里 稔	810
180	愛知	県立春日井商業高等学校	7/7	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	愛知 江崎 俊哉	481
181	熊本	県立天草高等学校倉岳校	7/7	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	熊本 緒方 将	21
182	北海道	北海道函館工業高等学校 定時制	7/8	◇	夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟	函館 中者 善元	60
183	茨城	県立潮来高等学校	7/8	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	関東 道家 謙太郎	150
184	三重	県立宇治山田商業高等学校	7/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	三重 堂野 雄彦	513
185	大阪	府立だいせん聴覚高等支援学校	7/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	大阪 町田 英之	65
186	福岡	県立嘉穂東高等学校	7/12	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	九州 松永 寿一郎	650
187	長崎	県立島原工業高等学校	7/12	★	地球温暖化と自動車技術(次世代自動車とインフラ)	(一社) 次世代自動車振興センター	- 狹野 法一	40
188	北海道	北海道千歳北陽高等学校	7/13	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	札幌 小泉 雅之	386
189	沖縄	県立浦添商業高等学校	7/13	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	沖縄 新里 稔	757
190	東京	都立小台橋高等学校	7/19	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	関東 道家 謙太郎	170
191	山梨	県立ろう学校	7/19	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	山梨 三枝 成己	22
192	鹿児島	県立皆与志養護学校	7/20	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	鹿児島 白濱 純洋	17

【資料1-2】令和4年度 講師派遣実績(交通社会教育)

No.	都道府県	主催	開催日	テーマ		講師派遣団体・会社/支部	担当 (敬称略)	受講人数
				★：環境・交通技術	◇：交通安全			
193	熊本	県立東稜高等学校	7/23	◇二輪車(バイク)の交通安全～高校生のための Safety Riding～	(一社) 日本二輪車普及安全協会	熊本	佐藤 誠	10
194	京都	京都美山高等学校	7/27	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	京都	桥谷 広明	46
195	静岡	沼駿地区高校生交通安全連絡協議会 (静岡県立小山高等学校他)	7/29	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	静岡	本村 渡	11
196	静岡	沼駿地区高校生交通安全連絡協議会 (静岡県立沼津商業高等学校他)	8/5	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	静岡	原 靖之	20
197	長野	長野県佐久平総合技術高等学校 浅間キャンパス	8/25	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	長野	吉川 瑠美	515
198	熊本	県立人吉高等学校 定時制	8/25	◇夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟	熊本	緒方 将	24
199	鹿児島	鹿児島城西高等学校	8/30	◇交通事故を起こして問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	九州	山本 周	70
200	秋田	県立大館鳳鳴高等学校	9/7	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田	横岡 彰	634
201	熊本	県立鏡わかあゆ高等支援学校	9/7	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	熊本	緒方 将	186
202	愛知	愛知県私学協会生徒指導研究部会	9/9	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	中部	中村 秀美	50
203	熊本	県立人吉高等学校五木分校	9/9	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	熊本	近村 政徳	30
204	秋田	県立花輪高等学校	9/14	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田	相場 秀一	373
205	福島	県立白河第二高等学校	9/14	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	福島	田代 秀之	49
206	熊本	県立第一高等学校	9/14	◇交通事故を起こして問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	九州	村上 立志	360
207	秋田	県立十和田高等学校	9/15	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田	横岡 彰	110
208	群馬	県立高崎高等特別支援学校	9/21	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	群馬	金子 公一	104
209	群馬	県立下仁田高等学校	9/26	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	群馬	小暮 貴広	75
210	大阪	府立都島工業高等学校	9/26	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	大阪	中植 啓伸	289
211	山形	県立上山明新館高等学校	9/27	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	山形	野川 智伸	637
212	福岡	県立八幡中央高等学校 定時制	9/27	◇夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟	福岡	石橋 泰斗	42
213	山梨	県立苗吹高等学校	9/29	◇二輪車(バイク)の交通安全～高校生のための Safety Riding～	(一社) 日本二輪車普及安全協会	山梨	鶴田 治彦	45
214	福島	県立いわき翠の杜高等学校	9/30	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	福島	渡辺 周二	34
215	栃木	県立石橋高等学校	9/30	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	栃木	田村 鋭夫	760
216	愛知	県立稲沢高等学校	10/3	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	愛知	江崎 俊哉	114
217	秋田	県立秋田西高等学校	10/5	◇夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟	秋田	横岡 彰	511
218	沖縄	県立久米島高等学校	10/5	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	沖縄	新里 稔	215
219	秋田	県立能代高等学校	10/6	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田	相場 秀一	545
220	福島	県立福島商業高等学校	10/11	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	福島	渡辺 周二	480
221	山口	県立下関北高等学校	10/13	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	山口	近藤 博嗣	176
222	神奈川	県立新栄高等学校	10/14	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	神奈川	奥田 恭司	359
223	福井	県立勝山高等学校	10/14	◇夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟	福井	伊藤 鉄平	114
224	長野	長野清泉女学院中学・高等学校	10/15	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	長野	吉川 瑠美	409
225	愛知	県立宝陵高等学校	10/17	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	愛知	江崎 俊哉	254
226	愛知	県立一宮南高等学校	10/20	★地球温暖化と自動車技術(次世代自動車とインフラ)	(公財) 日本自動車教育振興財団 派遣講師	-	荻野 法一	23
227	福岡	大牟田高等学校	10/25	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	福岡	庄島 恭博	412
228	奈良	県立奈良南高等学校	10/26	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	奈良	福田 剛	126
229	鹿児島	県立喜界高等学校	10/27	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	鹿児島	原山 大器	178
230	宮城	宮城県石巻北高等学校	11/2	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	宮城	佐藤 陽	500
231	茨城	県立笠間高等学校	11/2	◇交通事故を起こして問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	関東	竹島 亜機雄	149
232	北海道	北海道旭川北高等学校 定時制	11/4	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	旭川	後藤 博之	39
233	北海道	北海道札幌南高等学校 定時制	11/9	◇交通事故を起こして問われる責任	(一社) 日本損害保険協会	北海道	古田 博史	62
234	愛知	県立国府高等学校	11/9	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	愛知	江崎 俊哉	620
235	福島	県立いわき翠の杜高等学校	11/11	◇夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟	福島	田代 秀之	19
236	秋田	県立本荘高等学校 定時制	11/16	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	秋田	相場 秀一	18
237	茨城	智学館中等教育学校	11/16	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟	茨城	鈴木 孝児	155
238	長野	長野県下伊那農業高等学校	11/17	★交通技術と社会のあり方(自動運転技術が拓く未来と人との協調)	(有) N A C	-	西村 直人	30
239	奈良	県立山辺高等学校	11/26	◇二輪車(バイク)の交通安全～高校生のための Safety Riding～	(一社) 日本二輪車普及安全協会	奈良	森継 崇	5
240	愛知	愛知県高等学校工業教育研究会化学部会 (開催場所:愛知県立一宮起工科高等学校)	11/29	★地球温暖化と自動車技術(次世代自動車とインフラ)	(公財) 日本自動車教育振興財団 派遣講師	-	荻野 法一	14

【資料1-2】令和4年度 講師派遣実績(交通社会教育)

No.	都道府県	主催	開催日	テーマ		講師派遣団体・会社/支部	担当 (敬称略)	受講人数
				★：環境・交通技術	◇：交通安全			
241	大阪	府立りんくう翔南高等学校	12/1	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟 大阪	中植 啓伸	238
242	福島	県立郡山東高等学校	12/2	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟 福島	渡辺 周二	420
243	栃木	作新学院高等学校	12/2	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会 関東	小澤 純	4,000
244	熊本	県立南稜高等学校	12/2	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟 熊本	近村 政徳	410
245	秋田	県立大館鳳鳴高等学校 定時制	12/8	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟 秋田	相場 秀一	58
246	熊本	県立八代農業高校 泉分校	12/8	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟 熊本	緒方 将	40
247	京都	府立工業高等学校	12/9	★	地球温暖化と自動車技術(次世代自動車とインフラ)	(公財) 日本自動車教育振興財団 派遣講師	-	39
248	神奈川	湘南学院高等学校	12/13	★	地球温暖化と自動車技術(次世代自動車とインフラ)	(公財) 日本自動車教育振興財団 派遣講師	-	29
249	福井	県立坂井高等学校	12/15	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟 福井	義野 敏久	216
250	岡山	県立倉敷工業高等学校	12/16	★	地球温暖化と自動車技術(次世代自動車とインフラ)	(公財) 日本自動車教育振興財団 派遣講師	-	39
251	沖縄	県立沖縄ろう学校	12/19	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟 沖縄	新里 稔	20
252	千葉	県立我孫子東高等学校	12/20	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟 千葉	花島 寛康	562
253	鹿児島	県立大島北高等学校	12/20	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟 鹿児島	原山 大器	145
254	千葉	県立八街高等学校	12/21	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟 千葉	花島 寛康	500
255	愛知	県立幸田高等学校	12/22	◇	夜間の交通安全対策	(一社) 日本自動車連盟 愛知	近藤 雅樹	687
256	千葉	県立市川工業高等学校	1/27	◇	交通事故を起こして問われる責任	(一社) 日本損害保険協会 関東	道家 謙太郎	213
257	群馬	県立前橋西高等学校	2/9	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟 群馬	金子 公一	148
258	群馬	県立渋川工業高等学校	2/9	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟 群馬	田中 政彦	153
259	徳島	県立徳島聴覚支援学校	2/10	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟 徳島	角田 義道	16
260	熊本	県立天草拓心高等学校	2/16	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟 熊本	緒方 将	212
261	埼玉	県立宮代高等学校	3/15	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	(一社) 日本自動車連盟 埼玉	宇木 一志	359
262	兵庫	県立西宮高等学校	3/22	◇	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	(一社) 日本損害保険協会 近畿	隅田 清	700
交通社会教育計								78,615
自動車技術教育計								1,046
総合計								79,661

【資料1-3】令和4年度 講師派遣実績(PIUS特別講習)

No.	都道府県	主催	開催日	テーマ	講師派遣団体・会社	担当 (敬称略)	受講人数
1	東京	都立 練馬工業高等学校	7/12 7/13	PIUS特別講習	(公財) 日本自動車教育振興財団	清水 譲二	26
2	宮崎	鵬翔高等学校	7/26	PIUS特別講習	(公財) 日本自動車教育振興財団	清水 譲二	14
3	愛知	名古屋工業高等学校	8/10	PIUS特別講習	(公財) 日本自動車教育振興財団	清水 譲二	14
4	愛知	名電高等学校	8/17	PIUS特別講習	(公財) 日本自動車教育振興財団	清水 譲二	12
5	新潟	県立 新潟県中央工業高等学校	8/23	PIUS特別講習	(公財) 日本自動車教育振興財団	清水 譲二	7
6	宮崎	都城東高等学校	10/6 10/7	PIUS特別講習	(公財) 日本自動車教育振興財団	清水 譲二	31
7	宮崎	都城東高等学校	10/13 10/14	PIUS特別講習	(公財) 日本自動車教育振興財団	清水 譲二	19
8	岐阜	県立 岐阜工業高等学校	11/3	PIUS特別講習	(公財) 日本自動車教育振興財団	清水 譲二	10
9	静岡	飛龍高等学校	11/8 11/9	PIUS特別講習	(公財) 日本自動車教育振興財団	清水 譲二	20
10	静岡	県立 科学技術高等学校	12/27	PIUS特別講習	(公財) 日本自動車教育振興財団	清水 譲二	8
合計							161

【資料2】令和4年度教材贈呈式・教育懇談会開催状況

(敬称略)

■秋田県

1. 日時	令和4年11月21日(月) 13:00~14:30		
2. 場所	秋田県自動車会議所 4階 大会議室		
3. 出席者	(1) 来賓 秋田県教育庁高校教育課 副主幹 能美佳央 (2) 学校関係者 秋田県立秋田工業高等学校 校長 佐藤隆史 秋田県立秋田工業高等学校 機械科科長 小野直人 秋田県立小坂高等学校 工業科機械系コース教諭 村井駿 秋田県立大曲工業高等学校 機械科科長 佐々木和美 秋田県立男鹿工業高等学校 機械科科長 高松文仁 (3) 財団関係者 秋田県自動車教育推進協議会 会長 辻良之 [(-社)日本自動車販売協会連合会秋田県支部 支部長] 秋田県自動車教育推進協議会 事務局長 佐々木俊幸 [(-社)日本自動車販売協会連合会秋田県支部 専務理事] (-社)秋田県自動車整備振興会 会長 三浦廣巳 (-社)秋田県自動車整備振興会 専務理事 高瀬福也 秋田県軽自動車協会 会長 佐藤功 (-社)日本自動車販売協会連合会秋田県支部 課長 高橋朗子 (-社)日本自動車販売協会連合会秋田県支部 課長代理 柏原歩 (-社)日本自動車販売協会連合会秋田県支部 主任 渡部千佳子 (-社)日本自動車販売協会連合会秋田県支部 主任 佐々木葵 (公財)日本自動車教育振興財団 部長 市野真也 (4) マスコミ 日刊自動車新聞社 東北支社 梅崎信孝 秋田魁新報社 社会部 小山田竜士		

■山形県

1. 日時	令和4年11月11日(金) 13:00~14:30		
2. 場所	パレスグランデール 本館2階 カーサ・デル・ソレ		
3. 出席者	(1) 来賓 山形県教育庁高校教育課 主任指導主事 油井敏和 (2) 学校関係者 山形県立山形工業高等学校 機械技術科教諭 小野将志 山形県立寒河江工業高等学校 機械科教諭 松田浩明 山形県立村山産業高等学校 機械科科長 伊藤亨 山形県立米沢工業高等学校 常勤講師原動機担当 結城衛 山形明正高等学校 自動車工学科長 高橋哲史 創学館高等学校 常勤講師自動車工学担当 田澤諒 (3) 財団関係者 山形県自動車教育推進協議会 会長 小関眞一 [(-社)日本自動車販売協会連合会山形県支部 支部長] 山形県自動車教育推進協議会 事務局長 鏡道宏 [(-社)日本自動車販売協会連合会山形県支部 専務理事] (-社)山形県自動車整備振興会 専務理事 佐藤 光芳 (-社)日本自動車販売協会連合会山形支部 シニアマネージャー 高内義幸 (-社)日本自動車販売協会連合会山形県支部 課長代理 瀬野智亜希 (公財)日本自動車教育振興財団 部長 市野真也 (4) マスコミ 日刊自動車新聞社 東北支社 菊地孝作 山形新聞社 編集局報道部主任 菅原武史		

■群馬県

1. 日時	令和4年11月4日(金) 13:00~14:30		
2. 場所	ホテルラシーネ新前橋 3F 葵		
3. 出席者	<p>(1) 来賓 群馬県教育委員会事務局 高校教育課 教科指導係 指導主事 石井裕</p> <p>(2) 学校関係者 群馬県立高崎工業高等学校 校長 天田敏明 群馬県立高崎工業高等学校 教諭 町田晃彦 群馬県立新田暁高等学校 機械・電子技術系列主任 長谷川康則 群馬県立渋川工業高等学校 自動車科 村川克行 群馬県立藤岡工業高等学校 機械科長 山口卓治 群馬県立富岡実業高等学校 電子機械科 中島敏真</p> <p>(3) 財団関係者 (一社)日本自動車販売協会連合会群馬県支部 支部長 星崎功明 〔群馬県自動車教育推進協議会 会長〕 (一社)日本自動車販売協会連合会群馬県支部 専務理事 星野朗 〔群馬県自動車教育推進協議会 事務局〕 事務局長 (一社)日本自動車販売協会連合会群馬県支部 課長 吉田太 〔群馬県自動車教育推進協議会 事務局〕 (一社)群馬県自動車整備振興会 専務理事 真秀和正 (公財)日本自動車教育振興財団 常務理事 有賀潔 (公財)日本自動車教育振興財団 部長 市野真也</p> <p>(4) マスコミ 日刊自動車新聞社 群馬支局長兼新潟支局長 大沼康人 上毛新聞社 編集局前橋支局長 石倉雅人</p>		

■山梨県

1. 日時	令和4年10月31日(月) 13:30~15:00		
2. 場所	山梨県自動車販売店会館		
3. 出席者	<p>(1) 来賓 山梨県教育庁高校教育課 主査・指導主事 柿崎 敬</p> <p>(2) 学校関係者 山梨県立甲府工業高等学校 校長 菊島圭一 山梨県立甲府工業高等学校 機械科主任 内田瑞樹 山梨県立甲府城西高等学校 メカトロニクス系列教諭 天野卓也 山梨県立富士北稜高等学校 機械テクノロジー系列 長田宇 山梨県立青洲高等学校 機械工学科主任 網野進</p> <p>(3) 財団関係者 山梨県自動車教育推進協議会 会長 佐々木宏明 〔(一社)日本自動車販売協会連合会山梨県支部 支部長〕 山梨県自動車教育推進協議会 事務局長 興石光彦 〔(一社)日本自動車販売協会連合会山梨県支部 専務理事〕 (一社)日本自動車販売協会連合会山梨県支部 総務部長 遠藤聡 (一社)山梨県自動車整備振興会 専務理事 石原美千老 (公財)日本自動車教育振興財団 常務理事 有賀潔 (公財)日本自動車教育振興財団 部長 市野真也</p> <p>(4) マスコミ 日刊自動車新聞社 関東支社 山梨支局長 秋山淳</p>		

■新潟県

1. 日時	令和4年12月20日(火) 13:00~14:30		
2. 場所	ANA クラウンプラザホテル新潟 5階 稲穂		
3. 出席者	<p>(1) 来賓 新潟県教育庁高校教育課 副参事指導主事 神蔵紀明</p> <p>(2) 学校関係者 新潟県立新潟工業高等学校 校長 竹田直人 新潟県立新潟工業高等学校 機械科教諭 渡邊和博 新潟県立巻総合高等学校 工業系列教諭 田辺俊一 新潟県立長岡工業高等学校 機械科科長 中野哲也 新潟県立新潟県央工業高等学校 機械加工科実習助手 佐々木雄一 新潟県立佐渡総合高等学校 工業科教諭 山岸和重</p> <p>(3) 財団関係者 新潟県自動車教育推進協議会 会長 町田一越 〔(社)日本自動車販売協会連合会新潟県支部 支部長〕 新潟県自動車教育推進協議会 事務局長 太田武司 〔(社)日本自動車販売協会連合会新潟県支部 専務理事〕 (社)新潟県自動車整備振興会 会長 白井一止 (社)日本自動車販売協会連合会新潟県支部 管理部課長 小林大成 (社)日本自動車販売協会連合会新潟県支部 管理部 山川真広 (公財)日本自動車教育振興財団 部長 市野真也</p> <p>(4) マスコミ 日刊自動車新聞社 群馬支局長兼新潟支局長 大沼康人</p>		

■長野県

1. 日時	令和4年11月15日(火) 13:00~14:20		
2. 場所	ホテルメトロポリタン長野 3F 戸隠		
3. 出席者	<p>(1) 学校関係者 長野県長野工業高等学校 校長 清水史明 長野県長野工業高等学校 教諭 山本富識 長野県上田千曲高等学校 教諭 中村賢二 長野県駒ヶ根工業高等学校 教諭 林厚志</p> <p>(2) 財団関係者 (社)日本自動車販売協会連合会 長野県支部 副支部長 仁科丈彦 〔長野県自動車教育推進協議会 会長代理〕 (社)日本自動車販売協会連合会 長野県支部 専務理事 遠藤丈夫 〔長野県自動車教育推進協議会 事務局長〕 (社)長野県自動車整備振興会 常務理事 町井峰雪 (公財)日本自動車教育振興財団 常務理事 有賀潔</p> <p>(3) マスコミ 日刊自動車新聞社 関東支社 山梨支局長 秋山 淳</p>		

■徳島県

1. 日時	令和4年10月19日(水) 13:00~14:30		
2. 場所	徳島県自動車整備会館		
3. 出席者	(1) 来賓 徳島県教育委員会 学校教育課	指導主事	近藤伸二
	(2) 学校関係者 徳島県立徳島科学技術高等学校	校長	鎌田敏文
	徳島県立徳島科学技術高等学校	教諭	近藤新一
	徳島県立徳島科学技術高等学校 定時制	教諭	鶴本卓広
	徳島県立阿南光高等学校	教諭	戸井健治
	(3) 財団関係者 (一社)日本自動車販売協会連合会徳島県支部 〔徳島県自動車教育推進協議会〕	支部長 会長	北島義貴
	(一社)日本自動車販売協会連合会徳島県支部 〔徳島県自動車教育推進協議会〕	専務理事 事務局長	三宅徳明
	(一社)徳島県自動車整備振興会	専務理事	平野隆司
	(公財)日本自動車教育振興財団	部長	鈴木健太
	(4) マスコミ 日刊自動車新聞社	四国支局長	保本晃

■香川県

1. 日時	令和4年10月20日(木) 13:00~14:30		
2. 場所	J Rクレメント高松		
3. 出席者	(1) 来賓 香川県教育委員会事務局高校教育課	主任指導主事	亀田龍輔
	(2) 学校関係者 香川県立高松工芸高等学校	教諭	福井一仁
	香川県立坂出工業高等学校	校長	白坂正典
	香川県立坂出工業高等学校	教諭	栗英彰
	香川県立多度津高等学校	教諭	瀬尾文隆
	香川県立観音寺総合高等学校	教諭	松村三津福
	(3) 財団関係者 (一社)日本自動車販売協会連合会香川県支部 〔香川県自動車教育推進協議会〕	支部長 会長	星合貴彦
	(一社)日本自動車販売協会連合会香川県支部 〔香川県自動車教育推進協議会〕	専務理事 事務局長	一宮軌善
	(一社)香川県自動車整備振興会	専務理事	佐野満
	(公財)日本自動車教育振興財団	部長	鈴木健太
	(4) マスコミ 日刊自動車新聞社	四国支局長	保本晃

■愛媛県

1. 日時	令和4年12月22日(木) 13:00~14:30		
2. 場所	愛媛県自動車会館		
3. 出席者	<p>(1) 来賓 愛媛県教育委員会事務局指導部 高校教育課 指導主事 武智義尚</p> <p>(2) 学校関係者 愛媛県立新居浜工業高等学校 教諭 肱川大記 愛媛県立東予高等学校 教諭 矢野勝 愛媛県立松山工業高等学校 校長 一色俊宏 愛媛県立松山工業高等学校 教諭 山口秀樹 愛媛県立吉田高等学校 教諭 西田哲 学校法人新田学園 新田高等学校 教諭 白石将太 学校法人松山聖陵学園 松山聖陵高等学校 教諭 越智洋祐</p> <p>(3) 財団関係者 (一社)日本自動車販売協会連合会愛媛県支部 支部長 松田卓恵 〔愛媛県自動車教育推進協議会 会長〕 (一社)日本自動車販売協会連合会愛媛県支部 専務理事 竹葉晃 〔愛媛県自動車教育推進協議会 事務局長〕 (公財)日本自動車教育振興財団 部長 鈴木健太</p> <p>(4) マスコミ 日刊自動車新聞社 四国支局長 保本晃</p>		

■高知県

1. 日時	令和4年11月22日(火) 13:30~15:30		
2. 場所	ネットトヨタ高知(株) 2F会議室		
3. 出席者	<p>(1) 来賓 高知県教育委員会事務局 指導主事 澤田浩志</p> <p>(2) 学校関係者 高知県立高知工業高等学校 校長 北村晋助 高知県立高知工業高等学校 教諭 押岡禎之 高知県立須崎総合高等学校 教諭 有藤太亮</p> <p>(3) 財団関係者 (一社)日本自動車販売協会連合会高知県支部 支部長 佐藤誠三 〔高知県自動車教育推進協議会 会長〕 (一社)日本自動車販売協会連合会高知県支部 専務理事 秋山教二郎 〔高知県自動車教育推進協議会 事務局長〕 (公財)日本自動車教育振興財団 部長 鈴木健太</p> <p>(4) マスコミ 日刊自動車新聞社 四国支局長 保本晃</p>		

■福岡県

1. 日時	令和4年11月17日(木) 13:00~15:00		
2. 場所	ソラリア西鉄ホテル福岡		
3. 出席者	<p>(1) 来賓 福岡県教育庁教育振興部高校教育課 指導主事 溝部純也</p> <p>(2) 学校関係者 福岡県立苅田工業高等学校 教諭 渡邊正紀 福岡県立戸畑工業高校 教諭 権藤公章 福岡県立八女工業高等学校 教諭 松坂 福岡県立嘉穂総合高等学 教諭 島筒修治 福岡市立博多工業高等学校 教諭 木戸健人 学校法人真颯館 真颯館高等学校 教諭 三好深 学校法人豊国学園 豊国学園高等学校 教諭 内田英敏 学校法人嶋田学園 飯塚高等学校 教諭 佐藤幸之助 学校法人久留米工業大学 祐誠高等学校 教諭 東説秋 学校法人九州電気工業学園 希望が丘高等学校 教諭 中尾光明</p> <p>(3) 財団関係者 (一社)日本自動車販売協会連合会福岡県支部 支部長 金野誠 〔福岡県自動車教育推進協議会 会長〕 (一社)日本自動車販売協会連合会福岡県支部 専務理事 川原芳昭 〔福岡県自動車教育推進協議会 事務局長〕 (一社)福岡県自動車整備振興会 専務理事 栗山繁敏 (一社)日本自動車販売協会連合会福岡県支部 業務部長 櫻井良一 (公財)日本自動車教育振興財団 部長 鈴木健太</p> <p>(4) マスコミ 日刊自動車新聞社 九州支社長 松坂貴美子</p>		

■佐賀県

1. 日時	令和4年11月25日(金) 13:00~14:30		
2. 場所	ホテルグランデはがくれ		
3. 出席者	<p>(1) 来賓 佐賀県教育庁学校教育課産業教育担当 係長 桂原伸一郎</p> <p>(2) 学校関係者 佐賀県立唐津工業高等学校 教諭 野崎良二 学校法人江楠学園 北陵高等学校 教諭 高島英明 学校法人伊万里学園 敬徳高等学校 教諭 田中章彦</p> <p>(3) 財団関係者 (一社)日本自動車販売協会連合会佐賀県支部 支部長 前田博憲 〔佐賀県自動車教育推進協議会 会長〕 (一社)日本自動車販売協会連合会佐賀県支部 専務理事 本村修紹 〔佐賀県自動車教育推進協議会 事務局長〕 佐賀県軽自動車協会 会長 西川将昭 (公財)日本自動車教育振興財団 部長 鈴木健太</p> <p>(4) マスコミ 佐賀新聞社 記者 小島発樹 日刊自動車新聞社 九州支社長 松坂貴美子</p>		

■長崎県

1. 日時	令和4年12月9日(金) 13:00~14:30		
2. 場所	ホテルセントヒル長崎 2F 普賢		
3. 出席者	(1) 来賓 長崎県教育庁高校教育課高校教育班	指導主事	濱田伸
	(2) 学校関係者 長崎県立長崎工業高等学校	校長	北島弘明
	長崎県立長崎工業高等学校	教諭	前川明
	(3) 財団関係者 (一社)日本自動車販売協会連合会長崎県支部 〔長崎県自動車教育推進協議会〕	支部長 会長	円田浩司
	(一社)日本自動車販売協会連合会長崎県支部 〔長崎県自動車教育推進協議会〕	専務理事 事務局長	平田泰範
	(一社)長崎県自動車整備振興会	専務理事	神田安一
	(公財)日本自動車教育振興財団	部長	鈴木健太
	(4) マスコミ 日刊自動車新聞社 九州支社	記者	木佐貫俊二

■熊本県

1. 日時	令和4年12月9日(金) 13:00~14:30		
2. 場所	熊本ホテルキャッスル 2階キャッスルホール		
3. 出席者	(1) 来賓 熊本県教育庁高校教育課	主幹	増田健治
	(2) 学校関係者 熊本県立御船高等学校	電子機械科	山中宏之
	熊本県立水俣高等学校	機械科主任	山下義春
	熊本県立鹿本商工高等学校	機械科	西田光一
	熊本県立熊本工業高等学校	校長	柿下耕一
	熊本県立熊本工業高等学校	機械科	藤崎毅
	熊本県立八代工業高等学校	機械科	藤井圭祐
	熊本県立天草工業高等学校	機械科	原口護史
	熊本県立翔陽高等学校	工業系列・機械	草野寛
	(3) 財団関係者 熊本県自動車教育推進協議会	会長	齊藤直信
	〔(一社)日本自動車販売協会連合会熊本県支部〕	支部長	
	熊本県自動車教育推進協議会	事務局長	松本伸二
	〔(一社)日本自動車販売協会連合会熊本県支部〕	専務理事	
	(一社)熊本県自動車整備振興会	専務理事	緒方勝行
	(一社)日本自動車販売協会連合会熊本県支部	事務局長	羽田野晃央
	(一社)日本自動車販売協会連合会熊本県支部	課長	住本末佳
	(公財)日本自動車教育振興財団	専務理事	上橋義弘
	(4) マスコミ 日刊自動車新聞社 九州支社		吉田大輝

■大分県

1. 日時	令和4年12月16日(金) 13:00~14:30																																												
2. 場所	レンブラントホテル大分																																												
3. 出席者	<p>(1) 学校関係者</p> <table border="0"> <tr> <td>大分県立大分工業高等学校</td> <td>教頭</td> <td>江口哲治</td> </tr> <tr> <td>大分県立大分工業高等学校</td> <td>教諭</td> <td>外山隆史</td> </tr> <tr> <td>大分県立津久見高等学校</td> <td>教諭</td> <td>木村高広</td> </tr> <tr> <td>大分県立日田林工高等学校</td> <td>教諭</td> <td>大富忠洋</td> </tr> <tr> <td>大分県立中津東高等学校</td> <td>教諭</td> <td>外園裕之</td> </tr> <tr> <td>学校法人大分高等学校 大分高等学校</td> <td>教諭</td> <td>後藤章文</td> </tr> </table> <p>(2) 財団関係者</p> <table border="0"> <tr> <td>(一社)日本自動車販売協会連合会大分県支部 〔大分県自動車教育推進協議会〕</td> <td>支部長 会長</td> <td>橋本仁</td> </tr> <tr> <td>(一社)日本自動車販売協会連合会大分県支部 〔大分県自動車教育推進協議会〕</td> <td>専務理事 事務局長</td> <td>岩尾豊樹</td> </tr> <tr> <td>(一社)大分県自動車整備振興会</td> <td>専務理事</td> <td>須藤正智</td> </tr> <tr> <td>(公財)日本自動車教育振興財団</td> <td>部長</td> <td>鈴木健太</td> </tr> </table> <p>(3) マスコミ</p> <table border="0"> <tr> <td>日刊自動車新聞社 九州支社</td> <td>記者</td> <td>木佐貫俊二</td> </tr> <tr> <td>大分合同新聞社 編集局 報道部</td> <td>記者</td> <td>案里芙冬</td> </tr> <tr> <td>(株)テレビ大分 報道局 報道部</td> <td></td> <td>御手洗慶子</td> </tr> <tr> <td>大分朝日放送(株) ニュース情報センター</td> <td>記者</td> <td>楠元正孝</td> </tr> </table>			大分県立大分工業高等学校	教頭	江口哲治	大分県立大分工業高等学校	教諭	外山隆史	大分県立津久見高等学校	教諭	木村高広	大分県立日田林工高等学校	教諭	大富忠洋	大分県立中津東高等学校	教諭	外園裕之	学校法人大分高等学校 大分高等学校	教諭	後藤章文	(一社)日本自動車販売協会連合会大分県支部 〔大分県自動車教育推進協議会〕	支部長 会長	橋本仁	(一社)日本自動車販売協会連合会大分県支部 〔大分県自動車教育推進協議会〕	専務理事 事務局長	岩尾豊樹	(一社)大分県自動車整備振興会	専務理事	須藤正智	(公財)日本自動車教育振興財団	部長	鈴木健太	日刊自動車新聞社 九州支社	記者	木佐貫俊二	大分合同新聞社 編集局 報道部	記者	案里芙冬	(株)テレビ大分 報道局 報道部		御手洗慶子	大分朝日放送(株) ニュース情報センター	記者	楠元正孝
大分県立大分工業高等学校	教頭	江口哲治																																											
大分県立大分工業高等学校	教諭	外山隆史																																											
大分県立津久見高等学校	教諭	木村高広																																											
大分県立日田林工高等学校	教諭	大富忠洋																																											
大分県立中津東高等学校	教諭	外園裕之																																											
学校法人大分高等学校 大分高等学校	教諭	後藤章文																																											
(一社)日本自動車販売協会連合会大分県支部 〔大分県自動車教育推進協議会〕	支部長 会長	橋本仁																																											
(一社)日本自動車販売協会連合会大分県支部 〔大分県自動車教育推進協議会〕	専務理事 事務局長	岩尾豊樹																																											
(一社)大分県自動車整備振興会	専務理事	須藤正智																																											
(公財)日本自動車教育振興財団	部長	鈴木健太																																											
日刊自動車新聞社 九州支社	記者	木佐貫俊二																																											
大分合同新聞社 編集局 報道部	記者	案里芙冬																																											
(株)テレビ大分 報道局 報道部		御手洗慶子																																											
大分朝日放送(株) ニュース情報センター	記者	楠元正孝																																											

■宮崎県

1. 日時	令和4年11月8日(火) 13:00~14:30																																						
2. 場所	宮崎観光ホテル 東館 2F 日向の間																																						
3. 出席者	<p>(1) 来賓</p> <table border="0"> <tr> <td>宮崎県教育庁高校教育課産業教育担当</td> <td>指導主事</td> <td>藤崎公滋</td> </tr> </table> <p>(2) 学校関係者</p> <table border="0"> <tr> <td>宮崎県立日向工業高等学校</td> <td>機械科主任</td> <td>上田雅史</td> </tr> <tr> <td>宮崎県立宮崎工業高等学校</td> <td>校長</td> <td>長友健祐</td> </tr> <tr> <td>宮崎県立宮崎工業高等学校</td> <td>機械科</td> <td>中山治</td> </tr> <tr> <td>宮崎県立小林秀峰高等学校</td> <td>機械科</td> <td>迫正照</td> </tr> <tr> <td>学校法人大淀学園 鵬翔高等学校</td> <td>校長</td> <td>土肥隆生</td> </tr> <tr> <td>学校法人豊栄学園 都城東高等学校</td> <td>モビリティ工学科長</td> <td>福元達郎</td> </tr> </table> <p>(3) 財団関係者</p> <table border="0"> <tr> <td>宮崎県自動車教育推進協議会 〔(一社)日本自動車販売協会連合会宮崎県支部〕</td> <td>会長 支部長</td> <td>佐土嶋恒夫</td> </tr> <tr> <td>宮崎県自動車教育推進協議会 〔(一社)日本自動車販売協会連合会宮崎県支部〕</td> <td>事務局長 専務理事</td> <td>中武光博</td> </tr> <tr> <td>(一社)宮崎県自動車整備振興会</td> <td>専務理事</td> <td>甲斐保紀</td> </tr> <tr> <td>(一社)日本自動車販売協会連合会宮崎県支部</td> <td>事務局長</td> <td>田村謙治</td> </tr> <tr> <td>(公財)日本自動車教育振興財団</td> <td>専務理事</td> <td>上橋義弘</td> </tr> </table>			宮崎県教育庁高校教育課産業教育担当	指導主事	藤崎公滋	宮崎県立日向工業高等学校	機械科主任	上田雅史	宮崎県立宮崎工業高等学校	校長	長友健祐	宮崎県立宮崎工業高等学校	機械科	中山治	宮崎県立小林秀峰高等学校	機械科	迫正照	学校法人大淀学園 鵬翔高等学校	校長	土肥隆生	学校法人豊栄学園 都城東高等学校	モビリティ工学科長	福元達郎	宮崎県自動車教育推進協議会 〔(一社)日本自動車販売協会連合会宮崎県支部〕	会長 支部長	佐土嶋恒夫	宮崎県自動車教育推進協議会 〔(一社)日本自動車販売協会連合会宮崎県支部〕	事務局長 専務理事	中武光博	(一社)宮崎県自動車整備振興会	専務理事	甲斐保紀	(一社)日本自動車販売協会連合会宮崎県支部	事務局長	田村謙治	(公財)日本自動車教育振興財団	専務理事	上橋義弘
宮崎県教育庁高校教育課産業教育担当	指導主事	藤崎公滋																																					
宮崎県立日向工業高等学校	機械科主任	上田雅史																																					
宮崎県立宮崎工業高等学校	校長	長友健祐																																					
宮崎県立宮崎工業高等学校	機械科	中山治																																					
宮崎県立小林秀峰高等学校	機械科	迫正照																																					
学校法人大淀学園 鵬翔高等学校	校長	土肥隆生																																					
学校法人豊栄学園 都城東高等学校	モビリティ工学科長	福元達郎																																					
宮崎県自動車教育推進協議会 〔(一社)日本自動車販売協会連合会宮崎県支部〕	会長 支部長	佐土嶋恒夫																																					
宮崎県自動車教育推進協議会 〔(一社)日本自動車販売協会連合会宮崎県支部〕	事務局長 専務理事	中武光博																																					
(一社)宮崎県自動車整備振興会	専務理事	甲斐保紀																																					
(一社)日本自動車販売協会連合会宮崎県支部	事務局長	田村謙治																																					
(公財)日本自動車教育振興財団	専務理事	上橋義弘																																					

■鹿児島県

1. 日時	令和4年11月21日(月) 13:00~14:30		
2. 場所	鹿児島サンロイヤルホテル 3F マーガレット		
3. 出席者	<p>(1) 来賓 鹿児島県教育庁高校教育課 主任指導主事 米森剛</p> <p>(2) 学校関係者 鹿児島県立鹿児島工業高等学校 校長 大保智 鹿児島県立鹿児島工業高等学校 電子機械系 新谷博史 鹿児島県立穎娃高等学校 機械電気科 山脇克広 鹿児島県立吹上高等学校 電子機械科 二之宮尚 鹿児島県立川内商工高等学校 機械科主任 伊東雅也 鹿児島県立加治木工業高等学校 機械科 甲斐充 鹿児島県立曾於高等学校 機械電子科 鶴留悠樹 鹿児島県立鹿屋工業高等学校 機械科 木原靖夫</p> <p>(3) 財団関係者 鹿児島県自動車教育推進協議会 会長 中村博之 〔(-社)日本自動車販売協会連合会鹿児島県支部 支部長〕 鹿児島県自動車教育推進協議会 事務局長 町田昇二 〔(-社)日本自動車販売協会連合会鹿児島県支部 専務理事〕 (-社)鹿児島県自動車整備振興会 専務理事 淵脇一臣 (公財)日本自動車教育振興財団 専務理事 上橋義弘</p>		

■沖縄県

1. 日時	令和4年10月13日(木) 13:00~14:30		
2. 場所	沖縄県立沖縄工業高等学校 2F 視聴覚室		
3. 出席者	<p>(1) 学校関係者 沖縄県立美来工科高等学校 校長 喜屋武勝 沖縄県立那覇工業高等学校 校長 宮城哲夫 沖縄県立宮古工業高等学校 校長 知念俊一郎 沖縄県立八重山商工高等学校 校長 仲山久美子</p> <p>(2) 財団関係者 (-社)日本自動車販売協会連合会沖縄県支部 支部長 野原朝昌 〔沖縄県自動車教育推進協議会 会長〕 (-社)日本自動車販売協会連合会沖縄県支部 専務理事 屋比久隆 〔沖縄県自動車教育推進協議会 事務局長〕 (-社)日本自動車販売協会連合会沖縄県支部 業務部長 上運天浩 (公財)日本自動車教育振興財団 部長 鈴木健太</p>		

令和4年度事業報告附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条に規定する事項は存在しない。

公益財団法人 日本自動車教育振興財団